消　防　年　報

令和２年版

三沢米軍消防火災予防週間への支援参加（三沢基地内）

三沢市消防本部

（令和３年刊行）

はしがき

この消防年報は、三沢市消防の現勢と令和2年中における消防諸般の状況を収録し、将来の消防対策の参考に供する目的を持って編纂したものであります。

本統計は令和3年4月をもって作成したもので、これによらないものについてはそれぞれ記載した年月日現在により作成しました。

令和3年4月

三沢市消防本部

目　　次

三沢市の概要 …… 1
三沢市消防の歩み …… 2
消防本部・署の組織機構 …… 10
歴代消防長 …… 11
歴代次長 …… 12
歴代消防署長 …… 13
消防庁舎等の概要 …… 14

【総務】
消防職員の階級別　勤続年数・年齢構成 …… 15
研修派遣状況 …… 16
消防予算(当初)の推移 …… 17
消防吏員資格(免許)取得状況 …… 18

【警防】
災害等出場状況 …… 19
消防車両等の概況 …… 20
消防用資機材保有状況 …… 21
消防水利の状況 …… 22
消防相互応援協定状況 …… 23

【予防】
防火対象物状況 …… 24
用途別同意処理状況 …… 25
月別工事整備対象設備等着工届出受理状況 …… 26
月別消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届出受理状況 …… 27
各種届出書等受理状況 …… 28
予防査察実施状況(防火対象物) …… 29
予防査察実施状況(危険物施設)・甲種防火管理者講習受講状況 …… 30
危険物施設の規模別設置状況 …… 31
危険物施設数の状況・過去5年間の推移 …… 32
危険物規制事務の取扱状況 …… 33
女性防火クラブの状況・幼少年消防クラブの状況 …… 34

【通信】

消防緊急通信指令施設の状況 …… 35
覚知方法別受信状況・災害等問合せ状況 …… 36
年間気象概況 …… 37

【火災】

火災概況 …… 38
火災発生状況 …… 39
月別火災発生状況 …… 40
出火原因別火災発生状況・時間帯別火災発生状況 …… 41
過去5年間の火災発生状況 …… 42
過去10年間の出火原因別火災発生状況 …… 43
三沢市における主な火災記録 …… 44

【救急】

救急業務の概要・署所別・事故種別救急活動状況 …… 45
青森県ドクターヘリ要請状況・ドクターカー要請状況 …… 46
月別・曜日別救急活動状況 …… 47
年令区分別搬送人員・傷病程度別搬送人員・収容時間別搬送人員 …… 48
区域別救急活動状況 …… 49
時間別出場件数 …… 50
過去10年間の救急活動状況 …… 51
救急隊員の行なった応急処置等件数 …… 52
救急救命士が行なった特定行為の状況 …… 53
救命講習実施状況 …… 54

【救助】

救助業務の概要 …… 55

【消防団】

消防団の組織機構 …… 56
階級別消防団員数・消防団員の配置状況 …… 57
在職年数別団員数・年令別団員数・消防団員報酬 …… 58
消防団員出動状況 …… 59
消防団車両配置表 …… 60
消防団屯所一覧 …… 61

三沢市の概要

◎　三沢市のあらまし

○ 位　　置　東経141度22分　北緯40度40分

○ 面　　積　119.87k㎡（東西 約11km　南北 約25km）

○ 人　　口　38,816人（令和3年3月31日現在）

○ 人 口 密 度　323人（1平方キロメートル当たり）

○ 地　　勢

三沢市は本州の最北端である青森県の南東部に位置し、東は太平洋に臨み、西は小川原湖を隔て、東北町に接し、南はおいらせ町に接し、北は六ヶ所村の高瀬川の水流を境として、南北25km、東西11kmにわたる長方形の平坦地である。

また、米軍基地並びに航空自衛隊施設（約23.7平方キロメートル）が市街地中心部から西は、小川原湖、姉沼に接している。

◎ 市 制 施 行　昭和33年9月1日

◎ 消防本部設置　昭和32年4月1日

◎ 所　在　地　青森県三沢市大字三沢字堀口１７番地３６号

三沢市消防の歩み

寛永 13 年		南部藩士小比類巻掃部助、木崎野の野守となる。
明治 3 年		会津藩士松平容大、斗南藩を形成包合される。
明治 4 年		廃藩置県により三沢村は百石村に合併される。
明治 13 年		百石村から独立、村役場を浜三沢に置く。
明治 19 年		コレラ流行
明治 27 年		制令15号にて消防組規則公布
明治 29 年	6 月	大津波来襲、死者120名、流出家屋183戸
明治 35 年	5 月	三沢村長が各部落に火防組合を組織するように指示。火防組合が出来はじめる。
大正 13 年	6 月	三沢村消防組発足、第1部(浜三沢)、第2部(岡三沢)の2部制
	7 月	三沢信用組合より市原式腕用ポンプ2号、3号各1台の寄贈を受ける。
昭和 元 年		大凶作(冷害三分作)
昭和 8 年	3 月	三陸大津波来襲、死者26名、流出家屋多数
昭和 9 年		大凶作
昭和 10 年	5 月	消防組第3部(四川目)設置、腕用ポンプ1台配備
	6 月	消防組第4部(三川目)設置、腕用ポンプ1台配備
昭和 11 年	5 月	消防組第5部(織笠)設置、腕用ポンプ1台配備
	6 月	消防組第6部(新町)設置、腕用ポンプ1台配備
昭和 14 年	4 月	警防団令公布、三沢村警防団となり1～6分団に改組された。
昭和 20 年	8 月	米軍グラマン機による空襲、死者2名、家屋・家畜等多数の被害を出した。
昭和 22 年	5 月	消防団令制定、三沢村消防団と改組された。
	6 月	消防ポンプ自動車1台購入、消防団第6分団(新町)に配備
	12 月	消防組織法公布
昭和 23 年	2 月	町制施行、六戸、下田及び浦野舘村の一部を合併、大三沢町と改称
	3 月	消防団第7分団(薬師)設置、腕用ポンプ1台配備
		消防団第8分団(駅前)設置、腕用ポンプ1台配備
	7 月	消防法公布
昭和 24 年	4 月	消防団第9分団(六川目)設置、腕用ポンプ1台配備
昭和 25 年	4 月	消防団第10分団(中央町)設置、水槽付消防ポンプ自動車1台配備
	10 月	都市計画区域を決定
		消防団第11分団(谷地頭)設置、可搬式動力ポンプ1台配備
	11 月	消防ポンプ自動車1台を購入、消防団第1分団(浜三沢)に配備
	12 月	消防ポンプ自動車1台を購入、消防団第7分団(薬師)に配備
昭和 27 年	4 月	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入、消防団第2分団(岡三沢)に配備
昭和 29 年	11 月	消防ポンプ自動車1台を購入、消防団第4分団(三川目)に配備
昭和 30 年	2 月	大三沢町火災予防条例、同危険物取締条例公布
	3 月	国家消防本部より竿頭授を授与された。
	4 月	消防団第8分団(駅前)が廃止となり、淋代に消防団第8分団を設置。
	11 月	消防団第12分団(根井)、第13分団(塩釜)を設置、可搬式動力ポンプ2台購入、配備
昭和 32 年	4 月	大三沢町消防本部、消防署を設置、消防職員4名を任命配置
	6 月	消防職員14名採用、青森消防署へ教養派遣
	10 月	消防庁舎新築、木造モルタル造。延面積429平方メートル
		設置場所:大三沢町松園町二丁目1番地1
昭和 33 年	2 月	消防用短波無線電話装置、基地局1、移動局4基購入、消防署に配備
	8 月	消防職員18名採用
	9 月	市制施行、三沢市となる。三沢市消防本部、消防署、消防団と改称
昭和 36 年	5 月	三陸台風、農作物など3億円の損害
	6 月	消防署に望楼設置(鈴木式高さ20m)

三沢市消防の歩み

昭和 36 年 12 月	消防職員の定数49名に増員
	可搬式動力ポンプ2台購入、消防団第3分団（四川目）及び第5分団（織笠）に配備
	消防ポンプ自動車BS-Ⅱ型1台購入、消防団第9分団（六川目）に配備
昭和 37 年 3 月	三沢市火災予防条例公布
昭和 40 年 6 月	天ヶ森射爆撃場で塩素ガスボンベ爆破、六ヶ所村南部に流れ込み農作物に大被害を与える。
昭和 41 年 1 月	三沢大火発生、14時14分頃中央町二丁目より出火
	450棟焼失、罹災世帯828、損害額15億円強
3 月	都市計画法による準防火地域の指定
昭和 42 年 1 月	無火災都市市民大会開催
昭和 43 年 3 月	消防団第13分団第2部（天ヶ森）を設置
5 月	十勝沖地震発生、9時49分震度5、発生火災3件、死者1名、傷者62名、
	全壊家屋676棟、土木、商工、農林水産関係に被害甚大、被害額53億7千万円
昭和 44 年 2 月	消防署車庫増築。鉄骨造、建築面積33平方メートル
4 月	消防団第4分団第2部（鹿中）を設置
6 月	都市計画法による用途地域指定
11 月	消防ポンプ自動車BS－Ⅰ型（森田）1台購入、消防団第6分団（新町）に更新配備
12 月	消防職員定数58名に増改正
昭和 45 年 4 月	救急業務開始、救急車1台購入、消防署に配備
11 月	消防署車庫増築。鉄骨造、建築面積162平方メートル
昭和 46 年 4 月	消防団第3分団第2部（五川目）を設置
昭和 47 年 3 月	消防ポンプ自動車BD－Ⅰ型（森田）1台購入、消防団第10分団（中央町）に更新配備
9 月	可搬式動力ポンプ積載車（トヨタ）6台購入
	消防団第3分団（四川目）、第5分団（織笠）、第8分団（淋代）、第11分団（谷地頭）、第12分団（根井）
	及び第13分団（塩釜）に配備
昭和 48 年 5 月	三沢市において青森県総合防災訓練が実施される。
昭和 49 年 3 月	消防ポンプ自動車BD－Ⅰ型（日機）1台購入、消防団第7分団（薬師）に更新配備
昭和 50 年 2 月	消防ポンプ自動車BD－Ⅰ型（モリタ）1台購入、消防団第3分団（四川目）に更新配備
	消防ポンプ車1台を消防署から、消防団第13分団（塩釜）に配置替えする。
昭和 50 年 11 月	救急車（日産3B型）1台、県共済農業協同組合連合会より寄贈され、消防署に配備。
昭和 52 年 4 月	三沢市立根井小学校少年消防クラブ、根井婦人消防協力隊が結成される。
9 月	可搬式動力ポンプ（ラビットB2級）2台購入、消防団第8分団（淋代）及び第12分団（根井）に更新配備
11 月	消防超短波無線電話装置、基地局1、移動局2基、増設消防署に配備
昭和 53 年 3 月	消防団第1分団（浜三沢）屯所新築、木造平屋建104.34平方メートル
8 月	可搬式動力ポンプ（トーハツB2級）2台購入、消防団第5分団（織笠）及び第11分団（谷地頭）に更新配備
昭和 54 年 2 月	消防ポンプ自動車（CD-Ⅱ型・日機）1台購入、消防団第9分団（六川目）に更新配備
8 月	可搬式動力ポンプ（シバウラB2級）2台購入、消防団第4分団2部及び第3分団第2部に更新配備
10 月	三沢市、六戸町において青森県総合防災訓練が実施される。
昭和 55 年 3 月	消防ポンプ自動車（CD-Ⅱ型・日機）1台購入、消防署に配備
	消防職員定数71名に増改正
9 月	消防団第3分団（四川目）屯所新築、木造2階建、延面積95.23平方メートル
昭和 56 年 3 月	細谷、谷地頭、東岡三沢、根井（改称）婦人防火クラブ、各20名で結成される。
	消防団第2分団（岡三沢）屯所新築、木造平屋建115.93平方メートル
	消防職員定数101名に増改正
4 月	消防団第14分団（消防団第13分団第2部天ヶ森）、消防団第15分団（消防団第4分団第2部鹿中）、
	消防団第16分団（消防団第3分団第2部五川目）に昇格

三沢市消防の歩み

昭和 56 年 9 月	消防総合庁舎新築移転
	(場所:三沢市大字三沢字堀口１７番地内、庁舎延面積 2,465.58平方メートル)
	救急車1台、三沢市農業協同組合より寄贈され、消防署に配備
	小型動力ポンプ積載車1台購入、消防団第16分団に配備
10 月	消防職員20名採用
11 月	消防団第10分団(中央町)屯所新築
	(設置場所:三沢市中央町1丁目5番地内、 鉄骨、鉄筋コンクリート造、2階建延面積
	:482.55平方メートル)
昭和 57 年 2 月	小型動力ポンプ積載車1台購入、消防団第5分団(織笠)に更新配備
	消防団第4分団(三川目)屯所新築。木造平屋建105.99平方メートル
9 月	財団法人日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車(1－A型・日機)1台寄贈される。
10 月	消防ポンプ自動車(CD-Ⅱ型・森田)1台購入、消防署に配備
昭和 58 年 3 月	消防団第5分団(織笠)屯所新築、木造平屋建99.372平方メートル
昭和 59 年 2 月	財団法人日本消防協会より表彰旗を授与される。
	消防職員定数96名に減改正
3 月	消防庁長官より表彰旗を授与される。
	消防団第8分団(淋代)屯所新築、木造平屋建96.89平方メートル
	消防団第11分団(谷地頭)屯所新築、木造平屋建95.23平方メートル
	消防団第3分団(四川目)屯所増築(木造2階建、増築面積24.84平方メートル、
	延面積120.07平方メートル)
10 月	日本防火協会より軽可搬式動力ポンプ1台寄贈され、谷地頭婦人防火クラブに配備
11 月	救難兼防災パトロール車(トヨタランクル)1台購入、消防署に配備
昭和 60 年 3 月	消防団第12分団(根井)屯所新築、木造平屋建96.88平方メートル
10 月	日本防火協会より軽可搬式動力ポンプ3台寄贈される。
	根井婦人防火クラブ、細谷婦人防火クラブ、東岡三沢婦人防火クラブに配備
11 月	小型動力ポンプ積載車1台購入、消防団第12分団(根井)に更新配備
	青森県南清掃㈱より救急車1台寄贈され、消防署に配備
昭和 61 年 1 月	消防団第6分団2部を(西古間木)設置
3 月	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)1台購入、消防署に配備
	普通消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)1台購入、消防団第4分団(三川目)に更新配備
	消防団第13分団(塩釜)屯所新築移転、木造平屋建97.72平方メートル
	消防団第14分団(天ヶ森)屯所新築移転、木造平屋建83.64平方メートル
昭和 62 年 3 月	普通消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)1台購入、消防団第6分団(新町)に更新配備
	消防団第9分団(六川目)屯所新築、木造平屋建94.82平方メートル
	消防団第17分団(6分団2部西古間木)に昇格
	消防団第17分団(西古間木)屯所新築、木造平屋建131.67平方メートル
4 月	青森県消防学校講師として、職員1名派遣(3年)
6 月	日本防火協会より広報車(トヨタハイエース)1台寄贈、消防署に配備
11 月	青森県救急医療システム運用開始
昭和 63 年 3 月	普通消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)1台購入、消防団第1分団に更新配備
	消防団第6分団(新町)屯所新築、木造2階建95.23平方メートル(集会場と複合)
	消防団第16分団(五川目)屯所新築、木造平屋建82.78平方メートル
4 月	防災行政無線システム更新し、運用開始
平成 元 年 3 月	救急車(トヨタ2B型)1台、社団法人日本自動車工業会より寄贈され消防署に配備
	化学消防ポンプ自動車(A2Ⅲ型・森田)1台購入、消防署に配備
	消防団第15分団(鹿中)屯所新築、木造平屋建89.25平方メートル
12 月	救急車(日産2B型)1台、(株)ATVより寄贈され消防署に配備
	小型動力ポンプ自動車(トーハツB2級)1台購入、消防団第12分団(根井)に更新配備

三沢市消防の歩み

平成	2年	3月	消防団第7分団（薬師）屯所新築、木造2階建99.372平方メートル（集会場と複合）
		7月	第10回全国豊かな海づくり大会が天皇、皇后両陛下をお迎えし、三沢漁港にて開催。
		8月	薬師婦人防火クラブ23名で結成される。
		11月	幼年消防クラブ（松園保育園77名、美野原保育園45名、浜三沢保育所40名）結成される。
平成	3年	3月	普通消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）1台購入、消防団第13分団（塩釜）に更新配備
		4月	中央分署、古間木出張所を設置
			消防本部に警防課を新設、併せて庶務課を総務課に改称
平成	3年	9月	台風19号襲来。損害額約6億8百29万円
		12月	第1回消防のつどいを開催（消防団主催）
平成	4年	2月	小型動力ポンプ付積載車1台購入、消防団第5分団（織笠）に更新配備
		3月	普通消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型4WD）1台購入、消防団第17分団（古間木）に更新配備
			救助工作車（Ⅱ型・日機）1台購入、消防署に配備
			小型動力ポンプ付水槽車（Ⅱ型・森田）1台購入、中央分署に配備
		4月	青森県総務部消防防災課へ研修生1名派遣
		6月	救急1号車に高度資器材9項目を購入配備
			消防職員定数114名に増改正
		7月	三沢市消防団旗1旗購入、消防団本部に更新配備
		8月	小型動力ポンプ積載車（トヨタ）1台購入、消防団本部に配備
		9月	三沢漁港にて平成4年度青森県総合防災訓練を開催する。
			水槽付消防ポンプ自動車1台が日本損害保険協会より寄贈される。
		10月	県内初の女性消防吏員1名採用
		12月	医療法人聖心会より指揮車（マツダ）1台が寄贈される。
平成	5年	2月	消防用無線更新整備（基地局2、移動局2）
			指令装置2基設置（北分署、古間木出張所）
		3月	古間木出張所救急車庫新築（木造平屋建　41.4㎡）
			北分署新築（木造2階建　294.49㎡）
			救急2号車に高度資機材9項目購入配備
			小型動力ポンプ付水槽車（Ⅱ型・森田）1台購入、消防署に配備
		4月	女性消防吏員1名採用
			青森県消防学校へ講師1名派遣（2年）
			青森県総務部消防防災課へ研修生1名派遣
			松園幼稚園幼年消防クラブ90名で結成される。
平成	6年	3月	高規格救急自動車（トヨタ）1台及び高度救急資器材（12項目）購入、消防署に更新配備
			消防ポンプ自動車（三菱、4WD）1台購入。消防団第7分団（薬師）に更新配備
		4月	救急救命士が誕生
			青森県総務部消防防災課へ研修生1名派遣
			日本消防協会より広報車（トヨタ）1台が寄贈される。
		10月	女性消防吏員（救急救命士）1名採用
		11月	青森県防火の集い三沢大会開催(三沢市公会堂)
		12月	消防職員定数110名に減改正
			12月28日21時19分、三陸はるか沖地震発生　震度6
			重症2名、軽症25名、住家被害842棟、被害総額16億7千万円
平成	7年	1月	1月17日5時46分、阪神淡路大震災発生
		2月	小型動力ポンプ付積載車（三菱、4WD）1台購入。消防団第14分団（天ケ森）に更新配備
		4月	青森県総務部消防防災課へ研修生1名派遣
			青森県消防学校へ講師1名派遣（2年）
			青森県防災ヘリコプター就航。三沢市から隊員1名派遣（2年）

三沢市消防の歩み

平成 8 年 2 月	消防団第3分団、四川目から大津に新築移転
	消防本部へ広報車2台整備
3 月	消防ポンプ自動車（三菱、4WD）1台購入。消防団第3分団（大津）に更新配備
	災害対応特殊救急自動車（トヨタ4WD）及び高度救命処置用資機材購入、北分署に更新配備
4 月	青森県総務部消防防災課へ研修生1名派遣
平成 9 年 2 月	空気充填機1台、エアーテント1基購入整備
3 月	小型動力ポンプ付積載車（三菱、4WD）1台購入。消防団第16分団（五川目）に更新配備
4 月	青森県総務部消防防災課へ研修生1名派遣
	青森県消防学校へ講師1名派遣（2年）
	青森県防災航空センターへ隊員1名派遣（2年）
6 月	（社）日本損害保険協会の共催による「防災講演会」を開催。
10 月	第13回全国婦人消防操法大会「薬師婦人消防隊」出場
平成 10 年 3 月	高規格救急車（トヨタ、4WD）及び高度救急処置用資機材購入。古間木出張所に更新配備
	消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）更新整備
	消防用無線基地局3基更新整備
4 月	青森県総務部消防防災課へ研修生1名派遣
6 月	消防職員定数120名に増改正
7 月	日本消防協会より1級軽可搬式消防ポンプ付軽自動車及び救急救護資機材一式寄贈される。
12 月	資機材搬送車（いすゞ、クレーン付）新規購入、消防署に配置
平成 11 年 3 月	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）1台購入。古間木出張所に更新配備
	水難救助艇（FRP複合艇）更新整備、水中無線機整備
4 月	青森県総務部消防防災課へ研修生1名派遣
	青森県消防学校へ講師1名派遣（2年）
	青森県防災航空センターへ隊員1名派遣（2年）
6 月	消防団車積無線機整備（全消防団車）
12 月	小型動力ポンプ付積載車を購入、消防団第11分団（谷地頭）に更新配備
平成 12 年 1 月	人員搬送車（29人乗りマイクロバス）新規購入、消防署に配置
	第55回国民体育大会冬季大会「北のまほろば国体」が開催される。
4 月	青森県総務部消防防災課へ研修生1名派遣
9 月	平成12年度青森県総合防災訓練が当市三沢漁港を主会場に行われた。
10 月	消防団第6分団（新町）屯所、複合から単独となる。
12 月	指揮車（トヨタ、ランドクルーザー）1台購入、消防署に更新配備
平成 13 年 3 月	消防ポンプ自動車（いすゞ、4WD）1台購入、消防団第9分団（六川目）に更新配備
	全国共済農業協同組合連合会より、救急自動車（日産2B型）1台寄贈され、消防署に配置
4 月	消防職員5名採用
	規則、規程の改正に伴い警防課内通信指令室を通信指令課に昇格
	青森県総務消防防災課へ研修生1名派遣
	青森県消防学校へ講師1名派遣（2年）
	青森県防災航空センターへ隊員1名派遣（2年）
10 月	（財）日本宝くじ協会より消火・通報訓練指導車（マツダ）1台寄贈される。
11 月	小型動力ポンプ付積載車（三菱4WD、B－2級）1台購入、消防団第8分団（淋代）に更新配備
平成 14 年 4 月	青森県総務部防災消防課へ研修生1名派遣
6 月	東北地区予防・広報講習会開催（きざん三沢）
9 月	三沢市消防史編さん委員会発足
平成 15 年 2 月	第5回アジア冬季競技大会青森2003開催
3 月	水槽付消防ポンプ自動車（日野4WD）1台購入、中央分署に更新配備
	はしご付消防自動車（日野4WS）1台購入、消防署に更新配備

三沢市消防の歩み

平成 15 年 4 月	青森県総務部防災消防課へ研修生1名派遣
	青森県消防学校へ講師1名派遣（2年）
	青森県防災航空センターへ隊員1名派遣（3年）
11 月	青森県防火の集い三沢大会開催（三沢市公会堂）
平成 16 年 2 月	小型動力ポンプ付積載車（三菱4WD、Ｂ－2級）を購入、消防団第15分団（鹿中）に更新配備
4 月	消防職員4名採用
	青森県総務部防災消防課へ研修生1名派遣
平成 17 年 1 月	（財）日本防火協会より鼓笛隊楽器セットが助成され松園幼稚園に配備
2 月	指揮広報車（日産：4WD　8人乗）1台購入、消防団本部に更新配備
3 月	消防ポンプ自動車（いすゞ：CD-1型4WD）1台購入、消防団第2分団（岡三沢）に更新配備
4 月	消防職員3名採用
	青森県消防学校へ講師1名派遣（2年）
	交替制勤務の3部勤務体制が試行実施
平成 18 年 1 月	（財）日本消防協会より薬師婦人防火クラブにＤ－１級軽可搬消防ポンプと
	CPR訓練人形、AEDトレーナーが助成される。
平成 18 年 3 月	消防ポンプ自動車（いすゞ：CD-1型4WD）1台購入、消防団第4分団（三川目）に更新配備
	広報車（三菱：軽自動車4WD）2台購入、消防本部に更新配備
4 月	青森県防災航空センターに隊員1名派遣（3年）
	根井小学校廃校　根井小学校少年消防クラブから根井・朝日少年消防クラブに名称変更
平成 19 年 1 月	（財）日本消防協会から三沢市幼少年婦人防火委員会に防火広報用視聴覚資機材が助成
3 月	支援車（トヨタハイエース　4WD）1台購入、消防本部に更新配備
4 月	消防職員2名採用
	青森県消防学校へ講師1名派遣（2年）
	消防職員定数116名へ減改正
平成 19 年 11 月	（財）日本消防協会から三沢市幼少年婦人防火委員会へ防火防災訓練用資機材が助成
平成 20 年 2 月	空気充填機1台更新整備
	救助用エアーテント1式更新整備
3 月	消防本部第3車庫建設(用地面積：658.09㎡、延床面積：164.28㎡)
	高規格救急自動車（トヨタ・4WD)2台及び高度救命処置用資器材2式購入
	消防署及び消防署北分署に更新配備
4 月	消防職員1名採用
	3部勤務体制が正式実施される。
	消防本部組織改革　総務課及び警防課を統合し、管理課とする。
平成 21 年 3 月	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型1台購入、消防署に更新配備
	消防用支援車1台購入、消防署に更新配備
	消防ポンプ自動車（いすゞ：CD－Ⅰ型4WD）2台購入
	消防団第1分団（浜三沢）、消防団第6分団（新町）に更新配備
	小型動力ポンプ付積載車（いすゞ：4WD、Ｂ－2級）2台購入
	消防団第5分団（織笠）及び第12分団（根井）に更新配備
	消防訓練塔建設（鉄骨造3階建・3棟、用地面積：2,711.70㎡）
	消防団第16分団、五川目から前平に新築移転（集会場と複合）
	（鉄筋コンクリート平屋建　延床面積96.15㎡）
4 月	消防職員2名採用
	青森県防災航空センターへ隊員1名派遣（3年）
平成 22 年 1 月	消防総合庁舎車庫換気設備整備
	谷地頭婦人防火クラブ解散
4 月	消防職員定数110名へ減改正
	消防職員3名採用

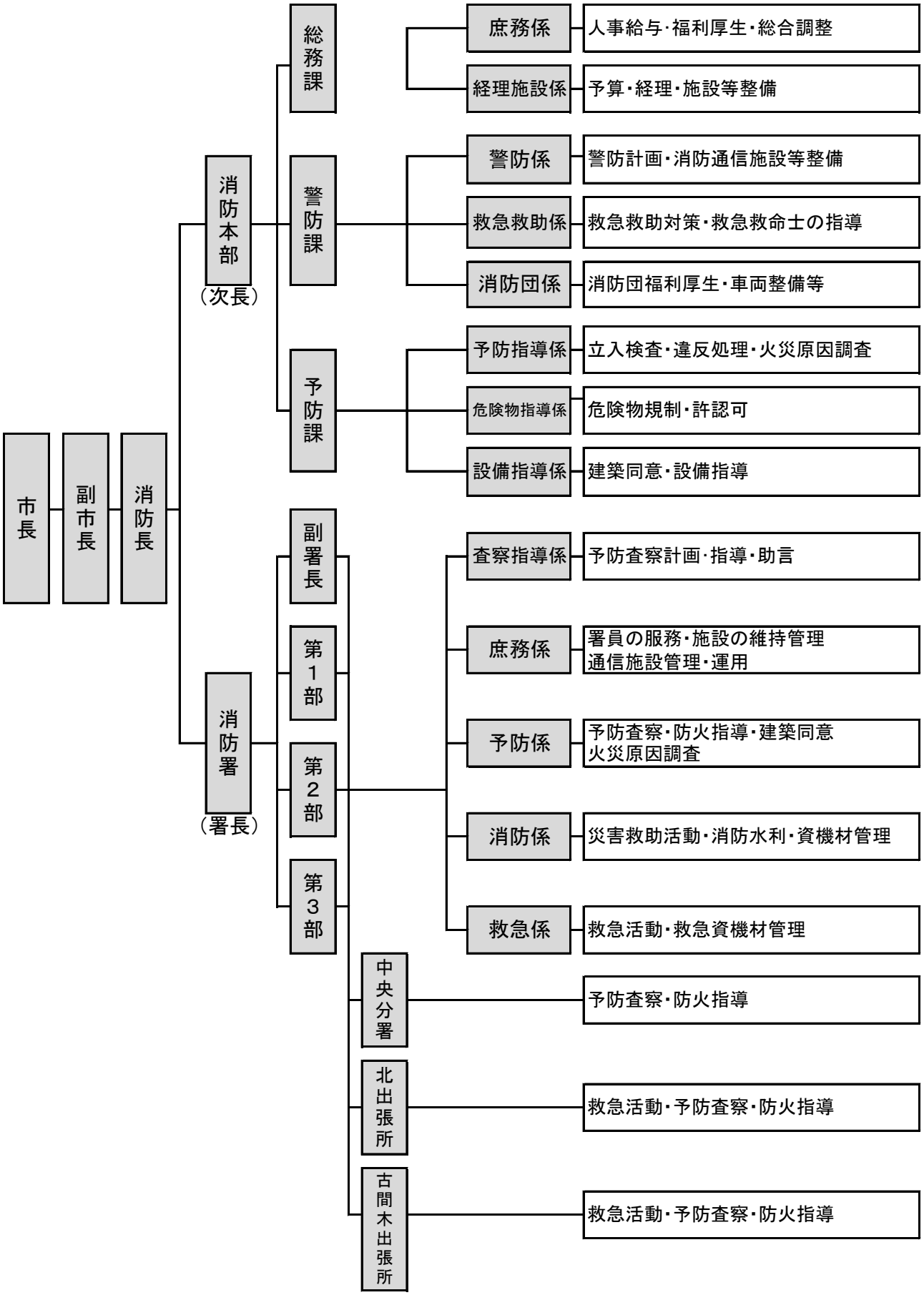
三沢市消防の歩み

平成 22 年 11 月	光華保育園幼年消防クラブ20名で結成される。
12 月	消防団第14分団、天ヶ森から新森に新築移転（木造平屋建　延床面積　90.80㎡）
平成 23 年　3 月	3月11日14時46分、東日本大震災発生　三沢市震度4　　高さ7.4ｍの大津波来襲
	（三沢市被害状況）※青森県総務部防災消防課調べ（平成23年3月9日）
	人的被害：死者2名、負傷者（軽傷）：1名
	建物被害：住家被害　被害金額　70,537千円
	住家被害79棟（全壊17棟、半壊22棟、一部破損40棟）
	非住家被害　被害金額　78,142千円
	非住家被害104棟（全壊79棟、半壊25棟）
平成 24 年　3 月	高規格救急自動車（トヨタ・4WD）1台及び高度救命処置用資器材購入、
	消防署古間木出張所に更新配備
	救助工作車（Ⅱ型・モリタ）1台購入、消防署に更新配備
	消防ポンプ自動車（モリタ・CD－Ⅰ型4WD）1台購入、消防団第10分団（中央町）に更新配備
4 月	青森県総務部防災消防課へ研修生1名派遣
	青森県航空防災センターへ1名派遣（3年）
	消防職員1名採用
平成 25 年　3 月	小型動力ポンプ付積載車（いすゞ4WD、B-2級）購入、消防団第14分団（新森）に更新配備
	上十三地域4消防本部消防通信指令事務協議会設置
4 月	消防職員3名採用
10 月	平成25年度「全国消防長会東北支部警防実務研究会」が76消防本部、280人の出席者
	のもと、三沢市（きざん三沢）において開催される。
11 月	『青森県防火の集い 三沢大会』が県内で火災予防運動を進める防火クラブ員及び消
	防関係者など約700人が参加し、三沢市公会堂大ホールで開催される。
平成 26 年　3 月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1台購入。消防署北分署に更新配備
	普通消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型4WD）1台購入、消防団第13分団（塩釜）に更新配備
	総務省消防庁の無償貸与により、小型動力ポンプ付積載車（いすゞ4WD、B-2級）を
	消防団第16分団（前平）に更新配備
	総務省消防庁の無償貸付により、消防団拠点資機材を消防団本部に配備する。
	有事の際の災害活動拠点となる消防総合庁舎の機能維持等を目的として、平成25年
	度青森県公共施設再生可能エネルギー等導入推進事業費補助金を活用してし太陽光
	発電システム及び風力発電システム等を整備する。
4 月	消防職員3名採用
	消防署北分署を消防署北出張所に名称変更する。
平成 27 年　2 月	指揮広報車（ホンダ：ステップワゴン4WD、8人乗り）1台購入。消防団本部へ更新配備
4 月	消防職員3名採用
	消防本部組織の一部改革を行い、警防課を新設、通信指令課を廃止し、管理課を総務課とする。
	青森県航空防災センターへ1名派遣（3年）
12 月	上十三消防指令センター仮運用、職員4名派遣
	消防署古間木出張所内装改修

三沢市消防の歩み

平成 28 年	2 月	広報車（ホンダ：軽自動車4WD）2台購入、消防本部に配備更新
	3 月	高規格救急自動車（トヨタ・4WD）1台及び高度救命処置用資器材購入、消防署に更新配備
		小型動力ポンプ付水槽車1台購入、消防署中央分署に更新配備
		普通消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）1台購入、消防団第17分団に更新配備
	4 月	上十三消防指令センター運用開始(職員5名派遣)
		消防職員3名採用
平成 29 年	3 月	小型動力ポンプ付水槽車1台購入、消防署に更新配備
	4 月	消防職員2名採用
		青森県防災危機管理局消防保安課へ研修生1名派遣
平成 30 年	3 月	人員搬送車（29人乗りマイクロバス）購入、消防署に更新配備
		高規格救急自動車（トヨタ・4WD）1台及び高度救命処置用資器材購入、
		消防署北出張所に更新配備
	4 月	消防職員4名採用
		青森県危機管理局防災危機管理課へ研修生1名派遣
		青森県航空防災センターへ1名派遣（3年）
		上十三消防指令センター派遣職員5名（2名派遣者交代）
平成 31 年	3 月	小型動力ポンプ付積載車（いすゞ4WD、B-2級）購入、消防団第8分団（淋代）に更新配備
	4 月	消防職員2名採用
		青森県危機管理局消防保安課へ研修生1名派遣
		上十三消防指令センター派遣職員5名（2名派遣者交代）
令和 2 年	2 月	水難救助艇（FRP複合艇）及び、水中スピーカー更新
	3 月	小型動力ポンプ付積載車（いすゞ4WD、B-2級）購入、消防団第11分団（谷地頭）に更新配備
	4 月	消防職員4名採用
		青森県危機管理局防災危機管理課へ研修生1名派遣
		上十三消防指令センター派遣職員5名（3名派遣者交代）
	10 月	三沢市立第三中学校防災消防クラブ50名で結成される。
令和 3 年	4 月	消防職員4名採用（うち女性1名）
		青森県危機管理局消防保安課へ研修生1名派遣
		青森県航空防災センターへ1名派遣（3年）
		上十三消防指令センター派遣職員5名（2名派遣者交代）
		婦人防火クラブから女性防火クラブへ名称変更

消防本部・署の組織機構


市長
副市長
消防長
消防本部
（次長）
総務課
庶務係
人事給与･福利厚生･総合調整
経理施設係
予算･経理･施設等整備
警防課
警防係
警防計画･消防通信施設等整備
救急救助係
救急救助対策･救急救命士の指導
消防団係
消防団福利厚生･車両整備等
予防課
予防指導係
立入検査･違反処理･火災原因調査
危険物指導係
危険物規制･許認可
設備指導係
建築同意･設備指導
消防署
（署長）
副署長
第1部
第2部
第3部
査察指導係
予防査察計画･指導･助言
庶務係
署員の服務･施設の維持管理
通信施設管理･運用
予防係
予防査察･防火指導･建築同意
火災原因調査
消防係
災害救助活動･消防水利･資機材管理
救急係
救急活動･救急資機材管理
中央分署
予防査察･防火指導
北出張所
救急活動･予防査察･防火指導
古間木出張所
救急活動･予防査察･防火指導

歴代消防長

◎ 消防長

	氏　　名	就　任　年　月　日	在職年数
初代	小比類巻　金作	昭和32年 5月 1日	2年
2代	小比類巻　金作	昭和34年10月21日	5年
3代	上　平　茂	昭和39年10月14日	6年10ヶ月
4代	中　岫　正　一	昭和46年 8月 1日	2年8ヶ月
5代	高　橋　新太郎	昭和49年 4月 1日	5年7ヶ月
6代	石　原　義　男	昭和55年 3月 1日	7年1ヶ月
7代	堀　武	昭和62年 4月 1日	4年
8代	内　野　慶　三	平成 3年 4月 1日	1年
9代	荒　井　睦　雄	平成 4年 4月 1日	1年
10代	黒　田　進　二	平成 5年 4月 1日	3年
11代	栗　原　隆　成	平成 8年 4月 1日	1年
12代	遠　藤　義　和	平成 9年 4月 1日	1年
13代	織　笠　重　作	平成10年 4月 1日	1年
14代	馬　場　一　夫	平成11年 4月 1日	2年
15代	野々宮　壽　喜	平成13年 4月 1日	1年
16代	種　市　政　志	平成14年 4月 1日	2年
17代	畑　山　義　隆	平成16年 4月 1日	1年
18代	田　面　木　郁　男	平成17年 4月 1日	2年7ヶ月
19代	小比類巻正雄	平成19年11月 1日	1年5ヶ月
20代	糸　井　健　二	平成21年 4月 1日	1年
21代	月　館　孝	平成22年 4月 1日	2年
22代	田　村　斎	平成24年 4月 1日	2年
23代	葛　西　順　一	平成26年 4月 1日	2年
24代	田　頭　覚	平成28年 4月 1日	1年
25代	吉　田　武　雄	平成29年 4月 1日	1年
26代	山　内　修　一	平成30年 4月 1日	2年
27代	山　本　剛　志	令和 2年 4月 1日	1年
28代	斗　米　義　一	令和 3年 4月 1日	在職中

歴代次長

◎ 次　長

	氏　　名	就　任　年　月　日	在職年数
初代	石　原　義　男	昭和48年 8月 1日	4年8ヶ月
2代	石　原　義　男	昭和53年 7月 1日	1年9ヶ月
3代	高　橋　堅　次	昭和55年 4月 1日	4年
4代	藤　元　亀　栄	昭和59年 4月 1日	1年
5代	堀　　武	昭和60年 4月 1日	2年
6代	出　戸　勝　雄	昭和62年 4月 1日	3年
7代	古　田　三　三	平成 2年 4月 1日	2年
8代	冨　田　哲　雄	平成 4年 4月 1日	6年
9代	佐々木好夫	平成10年 4月 1日	1年
10代	坂　本　輝　男	平成11年 4月 1日	3年
11代	小比類巻正雄	平成14年 4月 1日	5年7ヶ月
12代	一　戸　　実	平成20年 4月 1日	2年
13代	田　村　　斎	平成22年 4月 1日	2年
14代	葛　西　順　一	平成24年 4月 1日	2年
15代	吉　田　武　雄	平成26年 4月 1日	3年
16代	山　内　修　一	平成29年 4月 1日	1年
17代	浪　岡　昭　治	平成30年 4月 1日	3年
18代	浅　野　一　雄	令和 3年 4月 1日	在職中

歴代消防署長

◎ 消防署長

	氏　　名	就　任　年　月　日	在職年数
初代	高　橋　新　太　郎	昭和32年 4月 1日	3年
2代	角　　金　　作	昭和35年 4月15日	5年
3代	石　原　義　男	昭和40年10月 1日	11年4ヶ月
4代	藤　元　亀　栄	昭和55年 3月 3日	4年1ヶ月
5代	内　野　慶　三	昭和59年 4月 1日	6年
6代	栗　原　隆　成	平成 3年 4月 1日	5年
7代	法　花　堂　　奨	平成 8年 4月 1日	1年
8代	坂　岡　清　松	平成 9年 4月 1日	2年
9代	小比類巻　正　雄	平成11年 4月 1日	3年
10代	根　岸　優　悦	平成14年 4月 1日	3年
11代	冨　　田　　徹	平成17年 4月 1日	4年
12代	角　　石　二　郎	平成21年 4月 1日	1年
13代	野々宮　正　人	平成22年 4月 1日	3年
14代	田　　頭　　覚	平成25年 4月 1日	3年
15代	宮　古　秀　雄	平成28年 4月 1日	1年
16代	浪　岡　昭　治	平成29年 4月 1日	1年
17代	冨　田　秀　雄	平成30年 4月 1日	2年
18代	斗　米　義　一	令和 2年 4月 1日	1年
19代	大　久　保　晃	令和 3年 4月 1日	在職中

消防庁舎等の概要

○　消防庁舎

区　分		所在地	庁舎の構造	竣工年月日
本部・署	本庁舎	大字三沢字堀口17-36	敷地面積　3，619.00㎡ 本庁舎 鉄骨鉄筋コンクリート造2階建 床面積　2，225.58㎡ 第2車庫 鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建 床面積　195.00㎡	昭和56年9月30日
	第2車庫			
	第3車庫	大字三沢字堀口17-139	敷地面積　657.00㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建 床面積　164.28㎡	平成20年3月21日
	訓練施設	大字三沢字上屋敷163-8	敷地面積　2，711.00㎡ 鉄骨造3階建　3棟 床面積　373.42㎡	平成21年3月27日
中央分署		中央町1丁目5-1	敷地面積　663.78㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造2階建 床面積　482.55㎡	昭和56年11月27日
北出張所		六川目五丁目1341-1	敷地面積　786.53㎡ 木造2階建 床面積　294.49㎡	平成5年2月24日
古間木出張所		古間木二丁目180-3	敷地面積　950.00㎡ 木造平屋建 床面積　131.66㎡	昭和62年3月26日

○　消防車両等

区分／所属	水槽付消防ポンプ車	消防ポンプ車	小型動力ポンプ付積載車	化学消防ポンプ車	小型動力ポンプ付水槽車	はしご付消防ポンプ車	救助工作車	高規格救急自動車	非常用救急自動車	資機材搬送車	人員搬送車	指揮車	広報車	支援車	事務連絡車	合計
消防本部												1	2		1	4
消防署	4	1		1	2	1	1	3	1	1	1	1		1		18
消防団		10	7									1				18
計	4	11	7	1	2	1	1	3	1	1	1	3	2	1	1	40

消防職員の階級別　勤続年数・年齢構成

階級 / 勤続年数	消防吏員							合計
	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
5年未満						1	15 (1)	16 (1)
5年～9年					7	2		9
10年～14年					8	1		9
15年～19年				1	6			7
20年～24年				19	3			22
25年～29年		2	9 (1)	13 (1)	2			26 (2)
30年～34年		3	5	4				12
35年以上	1	5	1		1			8
計	1	10	15 (1)	37 (1)	27	4	15 (1)	109 (3)

※女性吏員は内数として()内に示す。

階級 / 年齢構成	消防吏員							合計
	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
20歳未満							3 (1)	3 (1)
20歳～24歳							7	7
25歳～29歳					2	3	5	10
30歳～34歳					7	1		
35歳～39歳				1	9			10
40歳～44歳				7	5			12
45歳～49歳				21	2			23
50歳～54歳		3	11 (1)	7 (1)	1			22 (2)
55歳以上	1	7	4	1	1			14
計	1	10	15 (1)	37 (1)	27	4	15 (1)	109 (3)

※女性吏員は内数として()内に示す。

研修派遣状況

種別＼年度別			昭和32年～平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
消防大学校	新任消防長・学校長科				1			1	1											3
	上級幹部科		5																	5
	本科		8																	8
	幹部科		9		1											1	1	1	1	14
	新任教官科				1															1
	救急科		2																	2
	救助科		6										1					1		8
	予防科		5					1	1		1				1					9
	警防科		3					1						1						5
	火災調査科			1						1		1				1				4
	危険物科									1										1
青森県消防学校	初任教育		110	3		2	1	2	3		1	2	3	3	2	2	4	2	3	143
	幹部教養	中級幹部科	25	1											2	2	2	2	2	36
		初級幹部科	17																	17
	専科教養	警防科	28	1											2		2		1	34
		予防科(査察科)	26				1	1	1	1	1	1		2		1		1	1	37
		危険物科					1	1						2		1		1		6
		救急科(標準課程)	87	2	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	3	2	3	1	2	132
		救急科(救急Ⅱ課程)	32																	32
		救助科	35	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1		52
		火災調査科	7		2	2			1	1	1	1	2		1		2	1	1	22
		特殊災害科														2		2	2	6
		気管挿管	2	3	3	5														13
救急救命士			18	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	33
指導救命士研修														1	1	1				3
気管挿管実習			2	1	2	2	1	2	1	1		3	1	2	2	2	1	1	1	25
薬剤投与追加講習					1	1	1	1	1	3	3	3								14
処置拡大2行為追加講習													10	10	2					22
計			425	14	16	17	10	15	14	13	12	16	24	28	18	17	16	15	15	687

消防予算（当初）の推移

（単位:千円）

款	項	目	節	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般会計				22,123,000	22,220,000	24,428,000
9 消防費				1,108,191	1,093,303	1,216,125
	1 消防費			1,108,191	1,093,303	1,216,125
		1 常備消防費		991,023	1,008,046	953,626
			1 報酬		1,019	1,012
			2 給料	433,599	434,855	429,147
			3 職員手当等	360,172	368,956	329,102
			4 共済費	145,929	148,170	141,468
			賃金	1,044		
			7 報償費	231	199	199
			8 旅費	2,952	3,986	4,561
			10 需用費	24,080	23,688	22,601
			11 役務費	6,203	6,357	6,363
			12 委託料	5,791	7,946	4,750
			13 使用料及び賃借料	843	1,055	1,169
			15 原材料費	400	400	400
			17 備品購入費	4,871	5,869	7,602
			18 負担金補助及び交付金	4,304	4,369	4,584
			26 公課費	604	1,177	668
		2 非常備消防		34,236	32,147	37,172
			1 報酬	5,810	5,810	7,090
			7 報償費	482	433	433
			8 旅費	11,404	11,399	11,399
			10 需用費	2,625	2,420	2,560
			11 役務費	86	69	71
			12 委託料	1,572	1,572	4,971
			13 使用料及び賃借料	17	18	18
			17 備品購入費	2,762	2,594	2,594
			18 負担金補助及び交付金	8,984	7,466	7,605
			26 公課費	494	366	431
		3 消防指令事務協議会費		16,665	16,040	16,251
			18 負担金補助及び交付金	16,665	16,040	16,251
		4 消防施設費		50,733	37,070	51,294
			7 報償費	378		
			11 役務費	24		
			12 委託料	1,589	1,705	
			14 工事請負費	33,894	18,953	34,073
			17 備品購入費	8,668	10,232	11,041
			18 負担金補助及び交付金	6,180	6,180	6,180
		5 消防車両費		15,534		157,782
			8 旅費	71		927
			11 役務費	22		62
			17 備品購入費	15,431		156,620
			26 公課費	10		173

消防吏員資格（免許）取得状況

令和3年4月1日現在

資格(免許) ＼ 階級別		計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
自動車運転・整備関係	普通自動車免許	108	1	9	16	37	26	4	15
	大型自動車免許	98	1	9	16	36	26	4	6
	大型自動車免許(二種)	2				1		1	
	大型特殊免許	29	1	1	10	10	7		
	中型自動車免許	4					2		2
	自動二輪免許	17		3	6	4	4		
	けん引免許	13	1		5	5	2		
	自動車整備士 (ガソリン)	3			2			1	
	自動車整備士 (ディーゼル)	3			2			1	
通信関係	陸上特殊無線技士	100	1	8	16	37	26	4	8
	航空特殊無線技士	1				1			
危険物関係	危険物取扱者 (甲)	1					1		
	危険物取扱者 (乙1)	4			2	1	1		
	危険物取扱者 (乙2)	3			1	1	1		
	危険物取扱者 (乙3)	3			1	1	1		
	危険物取扱者 (乙4)	26	1	2	5	7	7	2	2
	危険物取扱者 (乙5)	6			1	2	2		1
	危険物取扱者 (乙6)	4			1	1	2		
	危険物取扱者 (丙)	6		1	2	3			
消防設備関係	消防設備士 (甲1)	2		1		1			
	消防設備士 (甲2)	2		1		1			
	消防設備士 (甲3)	1				1			
	消防設備士 (甲4)	1				1			
	消防設備士 (甲5)	1				1			
	消防設備士 (乙4)	3		1		2			
	消防設備士 (乙5)	1				1			
	消防設備士 (乙6)	11	1	4	3	3			
	消防設備士 (乙7)	3		3					
予防技術検定	消防設備等	6	1		1	3	1		
	危険物	3			1	1	1		
	防火査察	11			2	4	5		
救急関係	救急救命士	33		3	4	14	8		4
	応急手当指導員	104	1	9	16	37	26	4	11
その他	潜水士	74	1	7	8	27	21	4	6
	スキューバ	15		4	2	8	1		
	移動クレーン	70	1	7	12	28	20	1	1
	玉掛け	23		1	1	10	10		1
	アーク溶接	42	1	7	8	20	5	1	
	ガス溶接	20	1	2	2	11	2	2	
	小型船舶 (1・2級)	40		5	10	17	7	1	
	電気工事士	1					1		
	高圧ガス販売主任者	1		1					
	高圧ガス製造保安責任者	2			2				
	高圧ガス医療ガス取扱責任者	1		1					
	応急危険度判定士	1		1					
	フォークリフト運転	7			2	4	1		
	建設用リフト運転	1		1					
	車両系建設機械運転	7		1		2	3		1
	特定化学物質作業主任	1		1					
	酸素欠乏危険作業主任	5		2	2	1			
	石油機器技術管理士	1		1					
	建築士 (2級)	1		1					
	防災士	1		1					

災害等出場状況

令和2年中

種別＼月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合　計
火災	件数		1		3	1						2	5	12
	延人員		16		61	21						23	109	230
焼跡処理	件数				1	1							4	6
	延人員				5	3							13	21
火災調査	件数	1			1	1							5	8
	延人員	2			8	4							34	48
救助出場	件数	2	1	3	3 (1)	2	4	4	1	5	2	6	7	40 (1)
	延人員	28	10	27	50 (27)	42	50	51	7	69	18	85	129	566 (27)
救急出場	件数	146 (2)	132 (2)	106 (1)	104 (2)	144 (2)	108 (1)		120	132	132 (1)	109 (2)	131 (2)	1,364 (15)
	延人員	438 (6)	396 (6)	318 (3)	312 (6)	431 (6)	324 (3)	330	359	396	396 (3)	327 (6)	393 (6)	4,420 (45)
PA連携	件数	41 (1)	36 (1)	29	30	42	23	23	35	33	43 (1)	39 (2)	34 (2)	408 (7)
	延人員	132 (3)	118 (3)	102	103	154	81	81	114	125	147 (3)	146 (6)	118 (8)	1,421 (23)
風水害等	件数			1										1
	延人員			6										6
捜索	件数				(1)									(1)
	延人員				(27)									(27)
危険排除	件数	1		5		2				6	1		3	18
	延人員	7		21		9				39	5		25	106
ヘリ支援	件数	2	1	1	2	8	4	3	3	6	6	2	4	42
	延人員	9	4	5	11	40	18	15	13	28	24	8	21	196
特別警戒	件数	2	2	1	2	1			1				3	12
	延人員	29	15	39	30	11			4				27	155
予防事務	件数	13	19	30	8	9	18	30	25	31	66	43	18	310
	延人員	46	63	102	23	37	70	88	74	98	231	135	64	1,031
演習訓練	件数	13	29	32	24	25	37	28 (1)	26	26	27	31	8	306 (1)
	延人員	72	115	115	150	135	142	110 (8)	105	89	146	134	43	1,356 (8)
警防調査	件数	1	12	3	3	12	10	12	9	10	6	7	18	103
	延人員	3	59	11	9	57	43	58	40	42	28	29	93	472
誤報等	件数			1			1			2		3		7
	延人員			14			18			40		32		104
その他	件数	68 (1)	67	77 (1)	73	44	58	51 (1)	45	68	59 (1)	58	67	735 (4)
	延人員	234 (14)	215	251 (22)	240	134	160	202 (2)	145	232	171 (3)	189	200	2,373 (41)
合計	件数	290 (4)	300 (3)	289 (2)	254 (4)	292 (2)	263 (1)	151 (2)	265	319	342 (3)	300 (4)	307 (4)	3,372 (29)
	延人員	1,000 (23)	1,011 (9)	1,011 (25)	1,002 (60)	1,078 (6)	906 (3)	935 (10)	861	1,158	1,166 (9)	1,108 (12)	1,269 (14)	12,505 (171)

※1 ( )内は管外出場件数(管内出場件数に含まない)

※2 救助出場件数は、火災出場及び誤報等も含む。

消防車両等の概況

令和3年4月1日現在

所属	車名	種別	車種	登録年月日	使用年数	艤装社名	備考
本部	11号車	広報車	ホンダ	H27.12.17	5		4WD
	12号車	広報車	ホンダ	H27.12.17	5		4WD
	13号車	本部指揮車	トヨタ	H19.2.22	14		4WD
	事務連絡車	本部事務連絡車	ニッサン	H17.2.7	16		4WD
消防署	1号車	化学車Ⅱ型	日野	H21.3.13	12	(株)モリタ	水1,800ℓ/薬500ℓ
	2号車	B2級水槽車	日野	H29.3.9	4	(株)モリタ	水10,000ℓ
	3号車	A2級水槽付ポンプ車	日野	H15.3.17	18	日本機械工業(株)	水2,000ℓ
	4号車	B2級水槽車	日野	H28.3.11	5	(株)モリタ	水10,000ℓ
	5号車	A2級水槽付ポンプ車	日野	H11.3.8	22	日本機械工業(株)	水2,000ℓ
	6号車	A2級水槽付ポンプ車	日野	H26.3.5	7	(株)モリタ	水2,000ℓ 緊急消防援助隊登録車両
	指揮1	指揮車	トヨタ	H12.12.22	20		4WD・ウインチ付
	救助1	救助工作車Ⅱ型	日野	H24.3.14	9	(株)モリタ	クレーンウインチ装置付 前後引きウィンチ装置
	梯子1	はしご付消防車	日野	H15.3.24	18	(株)モリタ	30m級・先端屈折式・4WS
	救急1	高規格救急車	トヨタ	H28.3.2	5	トヨタテクノクラフト(株)	緊急消防援助隊登録車両
	救急2	高規格救急車	トヨタ	H24.2.28	9	トヨタテクノクラフト(株)	4WD
	救急3	高規格救急車	トヨタ	H30.3.9	3	トヨタテクノクラフト(株)	4WD
	救急4	非常用救急車	トヨタ	H20.3.18	13	トヨタテクノクラフト(株)	4WD
	7号車	A1級水槽付ポンプ車	いすゞ	H4.9.29	28	日本機械工業(株)	水2,000ℓ
	8号車	A2級ポンプ自動車	いすゞ	H4.3.11	29	(株)モリタ	
	9号車	資機材搬送車	いすゞ	H10.12.16	22		クレーンウインチ装置付
	10号車	人員搬送車	三菱	H30.2.26	3		29人乗り
	15号車	支援車	三菱	H21.3.12	12	(株)オートワークス京都	緊急消防援助隊登録車両
	きざきの	消防用救助艇	アキレス	R2.2.20	1		船室FRP 8人乗
	牽引台車	ボートトレーラー	オキトレーラーズ	H24.12.25	8		最大積載量/500kg 全長/5m
	救急指導車	救急普及啓発車	日産	R1.11.11	1		一般財団法人救急振興財団寄贈事業

消防用資機材保有状況

分類	品　　名	数量
一般救助用器具	かぎ付きはしご	3
	三連はしご	8
	ワイヤはしご	2
	空気式救助マット	1
	救命索発射装置	1
	サバイバースリング	3
	救助用縛帯	3
	平担架	2
	滑車	10
重量物排除用器具	油圧スプレッダー	1
	可搬式ウィンチ	4
	マンホール救助器具	1
	マット型空気ジャッキ	1
	大型油圧式スプレッダー	3
	救助用支柱器具　一式	2
切断用器具	油圧切断機	2
	エンジンカッター	3
	ガス溶断器	1
	チェーンソー	6
	鉄線カッター(各種)	5
	空気鋸	1
	大型油圧式切断機	2
破壊用器具	万能斧(大・小)	18
	携帯用コンクリート破壊器具	2
	削岩機	1
	ハンマードリル	2
検知測定用器具	マルチガス検知警報器	4
	耐電衣	4
	耐電ズボン	2
	耐電長靴	4
呼吸保護用器具	空気呼吸器 カワサキ型	14
	空気呼吸器 ドレーゲル型	36
	空気ボンベ(8.4ℓ　軽量)	11
	空気ボンベ(6.8ℓ　軽量)	96
	空気ボンベ(4.7ℓ　軽量)	10

分類	品　　名	数量
隊員保護用器具	耐電手袋	18
	携帯警報器	36
	化学防護服(陽圧式以外)	26
	陽圧式化学防護服	1
	耐熱服	11
	個人用線量計	12
検索用器具	簡易画像探索機一式	1
	画像探索機Ⅱ型一式	1
	熱画像直視装置	2
除染用器具	除染シャワー	1
水難用器具	潜水器具　一式	15
	救命胴衣	43
	水中投光器	14
	救命浮環	8
	浮標	2
	救命ボート	2
	船外機	2
	水中時計	7
	水中カメラ一式	3
	潜水用ボンベ(12ℓ)	19
山岳救助用器具	バスケット担架	3
その他の救助器具	投光器一式	4
	携帯投光器	8
	携帯無線機	20
	車両移動器具	1
	発電機	15
消火薬剤	水性膜泡消火薬剤	2,330ℓ

消防水利の状況

令和3年4月1日現在

町名＼種別		消火栓		防火水槽					計	有効水利数 (a)	基準数 (b)	充足率(%) (a)/(b)
				公設				私設				
		公設	私設	40㎥級	30㎥級	20㎥級	10㎥級	40㎥級				
市街地	本町	1 (1)			1 (1)				2 (2)	272	346	78.6
	新町	7 (5)		2 (2)		1 (1)			10 (8)			
	猫又	9 (8)		1 (1)		1			11 (9)			
	古間木山	6 (6)		1 (1)					7 (7)			
	千代田町	5 (1)		3 (3)					8 (4)			
	栄町	4 (2)		1 (1)					5 (3)			
	花園町	6 (4)		2 (2)		1 (1)			9 (7)			
	上久保	5 (1)		3 (3)					8 (4)			
	宇上久保	1							1			
	大町	8 (8)		7 (7)	1	1 (1)			17 (16)			
	南町	7 (3)	1 (1)	5 (5)				1 (1)	14 (10)			
	松園町	16 (15)		8 (8)	1	1 (1)			26 (24)			
	松原町	3 (2)	1 (1)	1 (1)				1 (1)	6 (5)			
	東町	7 (5)		7 (7)					14 (12)			
	中央町	23 (23)		13 (13)	2	1 (1)			39 (37)			
	桜町	6 (5)		8 (8)	1 (1)	3 (3)			18 (17)			
	美野原	6 (6)		5 (5)					11 (11)			
	緑町	4 (1)	1 (1)	1 (1)					6 (3)			
	幸町	7 (7)		4 (4)	2 (2)	1 (1)			14 (14)			
	平畑	4 (3)		4 (4)		2 (2)			10 (9)			
	岡三沢	17 (11)		11 (11)	3 (3)				31 (25)			
	泉町	4 (1)		1 (1)					5 (2)			
	日の出	5 (5)	1 (1)	2 (2)					8 (8)			
	深谷	7 (7)				1 (1)	1		9 (8)			
	南山	10 (7)		2 (2)					12 (9)			
	宇南山	7 (7)	4 (3)	1 (1)					12 (11)			
	堀口	5 (5)		6 (6)					11 (11)			
	字堀口	19 (17)	2 (1)	7 (7)				3 (3)	31 (28)			
	下久保	8 (3)		6 (6)					14 (9)			
	字下久保	6 (4)		2 (2)					8 (6)			
	東岡三沢	8 (4)		4 (4)		1 (1)			13 (9)			
	下夕沢	7 (2)		1 (1)					8 (3)			
	上屋敷	2 (2)							2 (2)			
	さつきヶ丘	3 (3)		1 (1)					4 (4)			
	横沢	5 (2)		1 (1)		1			7 (3)			
	山ノ神	1 (1)							1 (1)			
	園沢			1 (1)		2			3 (1)			
	小計	249 (187)	10 (8)	122 (122)	11 (7)	17 (13)	1	5 (5)	415 (342)			
準市街地1	春日台	14 (8)		6 (6)					20 (14)	32	53	60.3
	古間木	12 (11)	1 (1)	8 (8)					21 (20)			
	本町	3 (2)		1 (1)		1 (1)			5 (4)			
	小計	29 (21)	1 (1)	15 (15)		1 (1)			46 (38)	－	－	－
準市街地2	園沢	5 (4)		3 (3)					8 (7)	45	82	54.8
	大津	20 (20)	1 (1)	7 (7)				1 (1)	29 (29)			
	三川目	6 (5)		1 (1)		2 (1)	1		10 (7)			
	流平	2 (1)	1 (1)	1 (1)					4 (3)			
	鹿中	4 (4)		3 (3)		3 (1)	1		11 (8)			
	四川目	1 (1)		1 (1)		4 (2)			6 (4)			
	小計	38 (35)	2 (2)	16 (16)		9 (4)	2	1 (1)	68 (58)			
その他の地域	前平	1 (1)		15 (15)					16 (16)	87	92	94.5
	淋代	8 (4)		4 (4)		3 (2)	1		16 (10)			
	細谷	4 (4)		2 (2)					6 (6)			
	六川目	8 (6)		3 (3)		4 (2)			15 (11)			
	織笠・塩釜	11 (8)		4 (4)		5			20 (12)			
	根井	3 (3)		2 (2)		1	2		8 (5)			
	朝日・高野沢	2 (1)		2 (2)					4 (3)			
	谷地頭	8 (7)	1	6 (6)	1 (1)				16 (14)			
	富崎	1 (1)				1 (1)			2 (2)			
	越下・八幡	3		1 (1)		2 (2)			6 (3)			
	新森	5		6 (6)					11 (6)			
	その他	31 (17)	2	10 (10)		5 (4)	2	5 (5)	55 (36)			
	小計	85 (52)	3	55 (55)	1 (1)	21 (11)	5	5 (5)	175 (124)			
	合計	401 (295)	16 (11)	208 (208)	12 (8)	48 (29)	8	11 (11)	704 (562)	436	573	76.0

（ ）は消防水利の基準第３条に適合する数

消防相互応援協定状況

令和3年4月1日現在

協 定 名 称	協定先市町村等	締結年月日
消防相互応援協定	十和田市	昭和35年 5月20日
消防相互応援協定	六戸町	昭和35年 6月14日
消防相互応援協定	おいらせ町	昭和35年 6月21日
消防相互応援協定		昭和42年 1月 1日
消防相互応援協定	東北町	昭和42年 1月 1日
航空自衛隊三沢基地と三沢市との消防活動の消防援助に関する協定	航空自衛隊三沢基地	昭和55年 1月18日
三沢空港における航空機事故に対する消火救難活動に関する協定	東京航空局三沢空港事務所	昭和59年 3月26日
広域消防相互応援協定	中部上北広域事業組合	昭和60年 4月 1日
消防相互応援協定	六ヶ所村	昭和60年 4月 1日
消防相互応援協定	十和田地区消防事務組合	平成 2年 6月13日
消防相互応援協定	八戸地域広域市町村圏事務組合	平成 3年 5月21日
青森県広域航空消防相互応援協定	青森県・板柳町・消防一部事務組合	平成 7年 4月 1日
在日米軍三沢基地第35戦闘航空団と日本国青森県三沢市消防本部との消防相互応援協定	在日米軍三沢基地第35戦闘航空団	平成11年 1月 1日
青森県消防相互応援協定	県内市町村及び消防本部・一部事務組合	平成 28年 2月24日
鉄道災害発生時における消防活動に関する協定	北海道旅客鉄道(株)・東日本旅客鉄道(株)盛岡支社・東日本旅客鉄道(株)秋田支社・青い森鉄道(株)・津軽鉄道(株)・弘南鉄道(株)・日本貨物鉄道(株)・八戸臨海鉄道(株)・県内消防本部	平成28年 3月 25日

防火対象物状況

令和3年3月31日現在

防火対象区分				
1項	イ		劇場、映画館、演芸場又は観覧場	7
	ロ		公会堂又は集会場	52
2項	イ		キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類	
	ロ		遊技場又はダンスホール	6
	ハ		性風俗関連特殊営業を営む店舗等	
	ニ		カラオケボックス等	
3項	イ		待合、料理店の類	
	ロ		飲食店	63
4項			百貨店、マーケット、物品販売店等	96
5項	イ		旅館、ホテル、宿泊所等	11
	ロ		寄宿舎、下宿又は共同住宅	557
6項	イ	(1)	特定診療科目及び病床を有する病院	
		(2)	特定診療科目及び4病床以上を有する診療所	
		(3)	病院((1)を除く)、有床診療所((2)を除く)、有床助産所	3
		(4)	病床を有しない診療所、助産所	21
	ロ	(1)	老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム等	14
		(2)	救護施設	
		(3)	乳児院	1
		(4)	障害者入所施設	
		(5)	障害者支援施設	3
	ハ	(1)	老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム、老人福祉センター等	4
		(2)	更生施設	
		(3)	助産施設、保育所、幼保連携型認定こども園、児童養護支施設等	22
		(4)	児童発達支援センター、情緒障害者短期治療施設等	4
		(5)	身体障害者福祉センター、障害者支援施設（ロ(5)に掲げるものを除く。）等	5
	ニ		幼稚園又は特別支援学校	4
7項			小・中・高等学校、大学、各種学校の類	32
8項			図書館、博物館、美術館の類	6
9項	イ		公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類	
	ロ		イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	7
10項			車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	2
11項			神社、寺院、教会の類	18
12項	イ		工場又は作業場	148
	ロ		映画スタジオ又はテレビスタジオ	
13項	イ		自動車車庫又は駐車場	33
	ロ		飛行機又は回転翼航空機の格納庫	26
14項			倉庫	180
15項			前各項に該当しない事業場	596
16項	イ		特定用途を含む複合用途防火対象物	169
	ロ		イ以外の複合用途防火対象物	120
16の2項			地下街	
16の3項			準地下街	
17項			文化財保護法の規定による重要文化財等	
18項			延長50メートル以上のアーケード	1
19項			市町村長の指定する山林	
20項			総務省令で定める舟車	
合　　計				2,211

※延面積150㎡以上

用途別同意処理状況

令和2年度

令別表＼月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1項	イ													
	ロ													
2項	イ													
	ロ													
	ハ													
	ニ													
3項	イ													
	ロ													
4 項							1		1				1	3
5項	イ													
	ロ	1		2		1	2			2		1		9
6項	イ(1)													
	イ(2)													
	イ(3)													
	イ(4)													
	ロ(1)													
	ロ(2)													
	ロ(3)													
	ロ(4)													
	ロ(5)							1		1				2
	ハ(1)								1			1		2
	ハ(2)													
	ハ(3)													
	ハ(4)													
	ハ(5)													
	ニ													
7 項														
8 項														
9項	イ													
	ロ													
10 項														
11 項														
12項	イ	1						1				1		3
	ロ													
13項	イ	1												1
	ロ													
14 項		1			2	1				1	2	1	1	9
15 項		1		1	1	2	2	1	3	2		2	1	16
16項	イ								1					1
	ロ													
一般住宅		3		1	2	1		2	4	2	3		1	19
一般住宅通知		34	21	25	8	9	8	8	10	12	3	3	12	153
合　計		42	21	29	13	14	13	13	20	20	8	9	16	218

月別工事整備対象設備等着工届出受理状況

令和2年度

種別／月別	消火器	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	水噴霧消火設備等	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	消防機関へ通報する火災報知設備	非常警報・放送設備	避難器具	誘導灯・誘導標識	消防用水	排煙設備	連結散水設備	連結送水管	パッケージ型消火設備	合計
4月							1											1
5月		1					3											4
6月				2			1						1					4
7月			1								1							2
8月							1											1
9月				1			1		1									3
10月							4				1							5
11月		1					1											2
12月					1													1
1月							15		2									17
2月							1										1	2
3月		1	1				3											5
計		3	2	3	1		31		3		2		1				1	47

月別消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届出受理状況

令和2年度

種別／月別	消火器	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	水噴霧消火設備等	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	消防機関へ通報する火災報知設備	非常警報・放送設備	避難器具	誘導灯・誘導標識	消防用水	排煙設備	連結散水設備	連結送水管	パッケージ型消火設備	合計
4月	1	1					2			1		2						7
5月	1						1					1						3
6月	5	1					3			1		5						15
7月	3				1		1					8			1			14
8月	4						1					3						8
9月	3						4		1			5						13
10月				4	1		5				1							11
11月	8			1	1	1	5			1	1	5						23
12月	2						10			2		2						16
1月	1						3			1		2						7
2月	7	1	1	2	1		19		2	1	1	8	1		1			45
3月	5	1		1	1		2			1		5					1	17
計	40	4	1	8	5	1	56		3	8	3	46	1		2		1	179

各種届出書等受理状況

令和2年度

区分＼月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
防火管理者選任(解任)届	23	5	3	4	5	12	14	4	3	2	6	3	84
消防計画作成(変更)届	30	6	6	5	6	13	15	7	7	1	7	4	107
防火対象物使用開始届出	2	1	5	6	7	4	9	6	2	1	10	7	60
炉・厨房設備・温風暖房機等設置届出	1		1	2					2		3		9
催物開催届出													
少量危険物貯蔵取扱(廃止)・指定可燃物取扱い届出	2		1	6		1	4	1	5		1		21
消防活動上支障のある行為届出			1				1		1				3
火災とまぎわらしい煙又は火災を発するおそれのある行為の届出	4	8	1	1	2	1	3		2			2	24
水素ガス充填気球の届出													
変電発電蓄電設備届出	1		3	1				1		1	7	1	15
煙火打上届出				3	4	2							9
禁止行為の解除承認	3												3
露店等の開設届出				2	2	1					1		6
圧縮アセチレン等貯蔵取扱(廃止)届出			1	3	1	7		1			2	2	17
道路工事届	3	6	7	12	9	13	15	9	5	3	2	2	86
自衛消防訓練通知書	21	30	34	25	18	45	66	35	20	10	16	16	336
水道断減水届出書													
消防用設備等点検結果報告書 1,000㎡未満	36	11	50	27	8	28	40	17	15	23	10	33	298
消防用設備等点検結果報告書 1,000㎡以上	12	9	12	7	4	12	12	8	6	7	3	32	124
防火対象物定期点検報告	18	2	10	3	1	4	2		2	2	1	14	59
合計	156	78	135	107	67	143	181	89	70	50	69	116	1,261

予防査察実施状況（防火対象物）

令和2年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1項	イ				1	2	3		1					7
	ロ			1			4	1	2					8
2項	イ													
	ロ					2								2
	ハ													
	ニ													
3項	イ													
	ロ								1			1		2
4項				2	2	2	2	3	2					13
5項	イ				2	1	1		5					9
	ロ					2		1	1					4
6項	イ (1)													
	イ (2)													
	イ (3)													
	イ (4)													
	ロ (1)													
	ロ (2)													
	ロ (3)													
	ロ (4)													
	ロ (5)													
	ハ (1)													
	ハ (2)													
	ハ (3)													
	ハ (4)													
	ハ (5)													
	ニ													
7項														
8項					3									3
9項	イ													
	ロ													
10項														
11項														
12項	イ				2									2
	ロ													
13項	イ				1					1				2
	ロ													
14項					6		3	5	2					16
15項					1	6	11	2	5	14				39
16項	イ					2	2		3	4				11
	ロ													
16の2項														
16の3項														
17項														
18項														
19項														
20項														
アーケードその他の工作物														
合　計				3	18	17	26	12	22	19		1		118

予防査察実施状況（危険物施設）

区分＼年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
製造所	1	1	2	2	1
屋内貯蔵所	17	12	12	5	13
屋外タンク貯蔵所	32	24	39	28	27
屋内タンク貯蔵所	5	0	2	1	2
地下タンク貯蔵所	19	13	23	22	17
移動タンク貯蔵所	23	37	11	8	25
屋外貯蔵所	1	3	0	0	2
給油取扱所	1	21	0	20	12
一般取扱所	12	15	12	8	11
合　　計	111	126	101	94	110

甲種防火管理講習受講状況

区分＼年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
防火管理講習	54	66	54	42	35
再 講 習		14		10	19

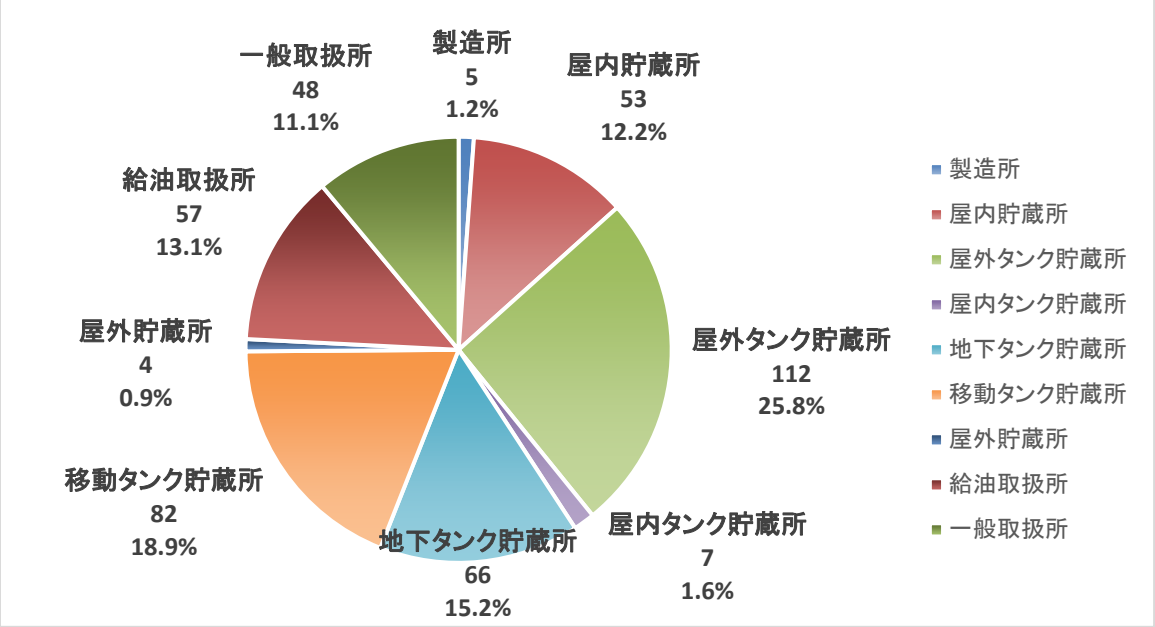
危険物施設の規模別設置状況

令和3年3月31日現在

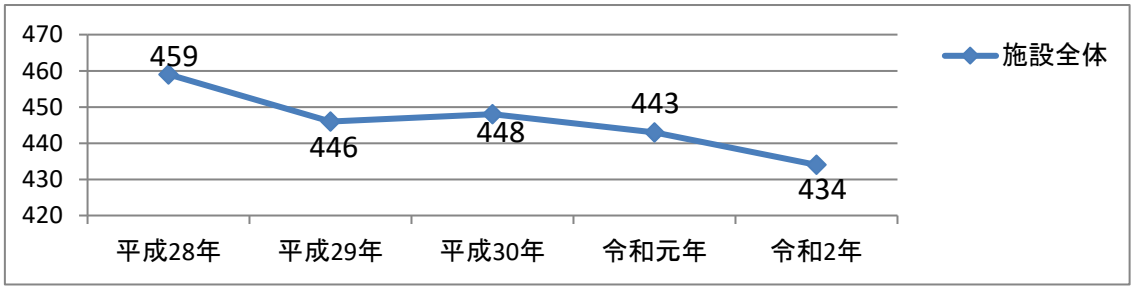
製造所等別 ＼ 指定数量別	製造所	貯蔵所								取扱所						合計
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	小計	
5倍以下		37	7	6	41	62			153	1				12	13	166
5倍を超え10倍以下		10	9	1	16	2		2	40	1				12	13	53
10倍を超え50倍以下		3	39		9	15			66	9				13	22	88
50倍を超え100倍以下			14			3			17	22				5	27	44
100倍を超え150倍以下		1	13						14	9				1	10	24
150倍を超え200倍以下			10					2	12	7					7	19
200倍を超え1,000倍以下	3	1	18						22	8				4	12	34
1,000倍を超え5,000倍以下	2	1							3					1	1	4
5,000倍を超えるもの			2						2							2
合　計	5	53	112	7	66	82		4	324	57				48	105	434

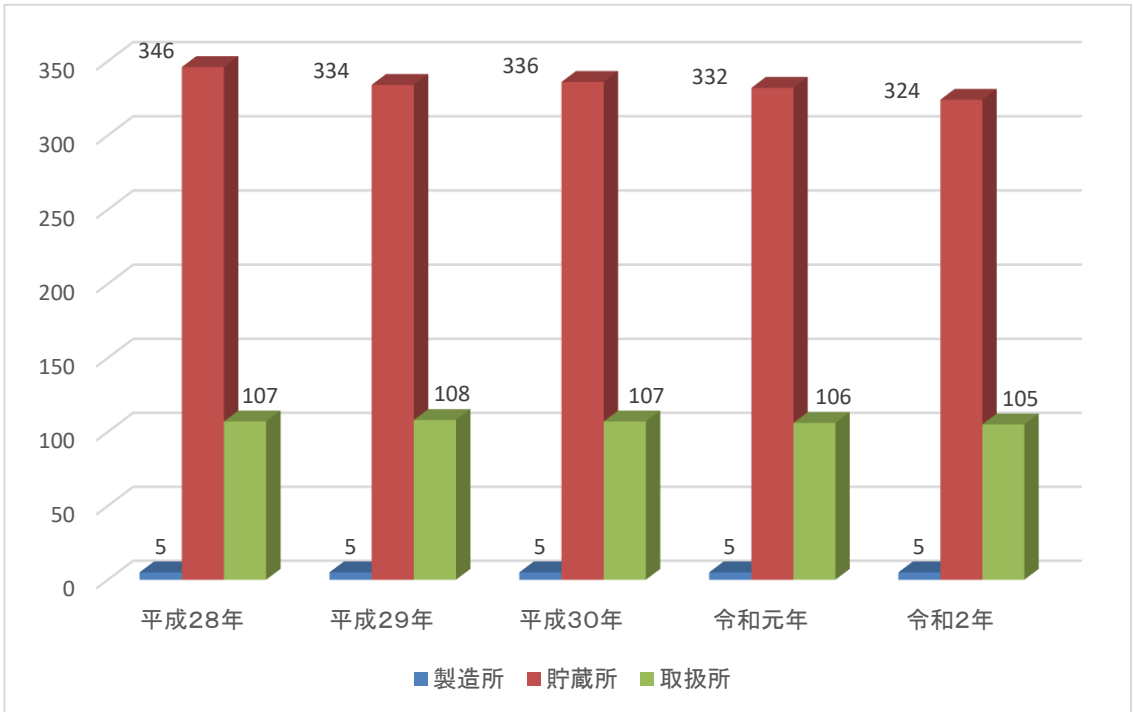
危険物施設数の状況

令和3年3月31日現在



危険物施設数の推移（過去５年間）





危険物規制事務の取扱状況

令和2年度

区分＼施設別		製造所	貯蔵所								取扱所						合計
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	小計	
許可	設置			1		2		1		4							4
	変更	14	6	10		1				31	3				5	8	39
完成検査	設置			1		2		1		4					2	2	6
	変更	14	6	10		1				31	3				4	7	38
完成検査前検査（水張）		2								2							2
承認	仮使用	14	5	10		1				30	3				2	5	35
	仮貯蔵仮取扱			1					1	2							2
認可	予防規程										3				1	4	4
届出	廃止							10	1	11					1	1	12
	譲渡・引渡					1				1	1				1	2	3
	品名・数量倍数変更		6	2					1	9							9
	保安統括管理者選解任			1						1							1
	保安監督選解任	2	29	10		7				48	11				10	21	69
	地下タンク等漏えい措置計画										1					1	1
	軽微な変更	16	3	7						26	10				5	15	41
	氏名・名称住所変更		2	3	2	3		5	1	16	2				2	4	20
	休止			1		2		1		4	1					1	5
	火気使用工事	1								1					5	5	6

女性防火クラブの状況

令和3年4月1日現在

名　　称	結成年月日	クラブ員数
根井女性防火クラブ	昭和 56 年 3 月 29 日	12　名
細谷女性防火クラブ	昭和 56 年 3 月 29 日	23　名
東岡三沢女性防火クラブ	昭和 56 年 3 月 29 日	7　名
薬師女性防火クラブ	平成 2 年 8 月 22 日	16　名
合　　計	4団体	58　名

幼少年消防クラブの状況

令和3年4月1日現在

名　　称	結成年月日	クラブ員数
根井・朝日少年消防クラブ	昭和 52 年 4 月 1 日	6　名
三沢市立第三中学校防災消防クラブ	令和 2 年 10 月 1 日	44　名
松園保育園幼年消防クラブ	平成 2 年 12 月 1 日	46　名
美野原保育園幼年消防クラブ	平成 2 年 12 月 1 日	49　名
浜三沢保育所幼年消防クラブ	平成 2 年 12 月 1 日	45　名
松園幼稚園幼年消防クラブ	平成 5 年 4 月 1 日	26　名
光華保育園幼年消防クラブ	平成 22 年 11 月 1 日	16　名
合　　計	7 団体	232　名

消防緊急通信指令施設の状況

機器名			数量
上十三消防指令センター	指令装置Ⅱ型	指令台	3式
		自動出動指定装置	3式
		地図等検索装置	3式
		支援情報検索装置	6式
		長時間録音装置	1式
		非常用指令装置	1式
		指令制御装置	1式
		携帯電話・IP電話受信転送装置	1式
	表示盤	車両運用表示盤	1式
		支援情報表示盤	1式
		多目的情報表示盤	1式
	指揮台		1式
	無線統制台		1式
	指令情報送信装置		1式
	気象情報収集装置		1式
	順次指令装置		1式
	音声合成装置		1式
	自動車両運用管理装置		1式
	電源設備		1式
	統合型位置情報通知装置		1式
	支援情報管理装置（OAサーバ）		1式

機器名		数量
署所端末装置		4式
支援端末（消防OA）		7式
指令情報出力装置		5式
気象情報収集装置		1式
幹部出退表示盤		4面
災害状況等自動案内装置		1式
三沢市防災行政無線（広報用）		1式
消防団緊急伝達システム遠隔制御装置		1式
三沢市ＣＡＴＶ災害案内装置		1式
無線設備	基地局	2局
	卓上移動局（署所）	3局
	可搬移動局	1局
	車載移動局（署）	21局
	携帯移動局（署）	27局
	車載移動局（分団）	17局
	車載移動局（本団）	1局
	携帯移動局（本団）	5局
	車両端末装置（署）	19台
	車両端末装置（分団）	17台
青森県総合防災情報システム		1式
青森県防災情報ネットワーク		

覚知方法別受信状況

令和2年中

覚知種別 / 受信方法		火災	救急	救助	その他の災害	通報訓練	回線試験	間違い	いたずら	信号のみ	その他	合計
報知電話	IP電話	5	267	2	4	47	5	14		14	46	404
	一般固定電話	3	335	3	8	56	5	14			32	456
	携帯電話(管内)	13	558	8	23	11	1	13		2	33	662
	携帯電話(管外)		3		1						3	7
加入電話	固定電話		21	3	61	2	16			1	4	108
	携帯電話		20		3							23
	警察		35	6	2							43
	病院(転院搬送)		166									166
駆け付け			4		1							5
自己覚知												
事後聞知												
その他			5		2							7
合　計		21	1,414	22	105	116	27	41		17	118	1,881

災害等問合せ状況

令和2年中

月別 / 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
災害	12	12	18	4	38	23	32	56	47	32	24	45	343
火災		3	7	28		14	6				3	28	89
病院	26	7	8	23	14	14	19	30	19	7	15	11	193
テレフォンガイド	124	101	154	218	208	142	167	136	190	146	158	210	1,954

年間気象概況

令和2年中

区分 / 月別	風速 (m/s)		風 向	相対湿度(%)			気温 (℃)			天候(9時観測)				降水量 (mm)
	最大	平均		最高	最低	平均	最高	最低	平均	晴	曇	雨	雪	
1月	22.0	3.1	西	98.8	43.4	83.8	7.9	−5.4	0.8	18	9	2	2	113.0
2月	22.9	3.0	西北西	98.8	32.5	83.7	11.6	−7.8	0.9	10	13		6	82.5
3月	26.5	3.6	西	99.0	29.6	77.1	17.5	−2.7	4.9	14	13	2	2	82.5
4月	23.3	3.8	西南西	98.9	21.8	77.3	19.7	−0.4	7.6	12	15	3		77.5
5月	23.5	3.6	東南東	99.0	16.2	80.6	30.4	5.3	14.0	14	14	3		54.5
6月	14.3	2.7	東南東	99.0	33.3	88.9	30.8	11.7	17.6	13	16	1		88.0
7月	13.2	2.7	東南東	98.3	65.7	94.6	27.7	15.2	18.8	8	16	7		182.0
8月	18.2	2.8	東	98.2	47.6	86.2	34.6	16.2	23.9	15	12	4		114.5
9月	23.8	3.9	東南東	98.2	37.6	87.9	33.3	10.8	20.1	10	13	7		205.0
10月	16.5	2.9	西南西	98.0	29.6	77.5	20.9	4.8	13.5	15	13	3		43.0
11月	22.3	3.1	西北西	97.9	35.9	74.5	20.8	−0.4	8.0	9	20	1		38.5
12月	19.8	3.2	西	97.8	41.5	83.0	10.1	−8.0	0.3	10	16		5	36.5
年間平均		3.2				82.9			10.9	年間合計				総雨量
年間最高 (最低)	26.5			99.0	16.2		34.6	−8.0		148	170	33	15	1,117.5

火災概況

令和2年中

三沢市内の令和2年中の火災発生件数は12件で、前年と比較して2件の増加となります。
火災種別ごとにみると、建物火災が9件で全火災の75%を占め、火災による死者が1名、負傷者は2名発生しています。

令和2年の火災状況と対前年比　（△は減少）

区分		令和元年	令和2年	増減
総火災件数		10	12	2
火災の種別	建物	5	9	4
	林野	2		△ 2
	車両	2	1	△ 1
	船舶			
	航空機			
	その他	1	2	1
焼損棟数（棟）		7	18	11
建物焼損面積（㎡）		4,289	774	△ 3,515
林野焼損面積（a）		70		△ 70
死者			1	1
傷者		3	2	△ 1
り災世帯数		1	13	12
り災人員		3	32	29
損害額（千円）		199,801	44,067	△ 155,734
火災の種別	建物	190,053	42,575	△ 147,478
	林野	5,210		△ 5,210
	車両	4,538	637	△ 3,901
	船舶			
	航空機			
	その他	2,824	855	△ 1,969

出火原因別件数

総数	原因	件数	（%）
12件	放火		
	放火の疑い	1	8.3%
	たばこ	1	8.3%
	火遊び		
	こんろ		
	ストーブ	3	25.0%
	たき火		
	煙突・煙道		
	ガス機器		
	天ぷら鍋・厨房機器		
	電気機器	2	16.7%
	電気配線		
	ローソク	1	8.3%
	焼却炉		
	マッチ・ライター		
	火入れ		
	その他		
	不明・調査中	4	33.3%

火災発生状況

令和2年中

数件	火災種別	出火日時	出火場所	火元用途	出火原因	焼損棟数	り災世帯	火元焼損面積（㎡）	死傷者（人）	損害見積額（千円）
1	その他	2月21日 18時20分	春日台3丁目	路上	不明					2
2	建物	4月5日 10時25分	新町2丁目	物置	ストーブ	全焼1 部分焼1	1	12		建物 261 収容物 42
3	建物	4月7日 3時00分	後久保	共同住宅	電熱器	部分焼1		1		建物 4
4	建物	4月27日 19時45分	松園町2丁目	住宅	たばこ	半焼1	1	25	死者1	建物 429 収容物 41
5	建物	5月9日 9時00分	上久保	倉庫	ストーブ	全焼1 ぼや1		138		建物 827 収容物 2,684
6	車両	11月1日 10時55分	中央町2丁目	貨物自動車	不明	車両1				637
7	その他	11月26日 時分不明	中央町2丁目	建設足場	放火疑い					
8	建物	12月6日 10時45分	前平2丁目	作業場	不明	全焼1 部分焼3	2	66		建物 1,658 収容物 234 その他 400
9	建物	12月19日 9時50分	松園1丁目	住宅	不明	全焼1	5	327	負傷者2	建物 12,849 収容物 1,268
10	建物	12月23日 17時00分	前平1丁目	倉庫	電熱器	全焼1		70		建物 2,635 収容物 538 その他 50
11	建物	12月29日 1時10分	大津3丁目	物置	ストーブ	全焼2 部分焼3	3	53		建物 12,819 収容物 5,316 その他 403
12	建物	12月31日 20時10分	堀口	住宅	ローソク	全焼1	1	82		建物 560 収容物 410
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										

月別火災発生状況

令和2年中

区分＼月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
火災件数	建物火災				3	1							5	9
	林野火災													
	車両火災											1		1
	船舶火災													
	航空機火災													
	その他火災		1									1		2
	合計		1		3	1						2	5	12
焼損棟数	全焼				1	1							6	8
	半焼				1									1
	部分焼				2								6	8
	ぼや					1								1
	合計				4	2							12	18
面積	建物（㎡）				38	138							598	774
	林野（a）													
り災世帯数	全損												5	5
	半損				1								1	2
	小損				1								5	6
	り災人員				5								27	32
死傷者	死者				1									1
	負傷者												2	2
損害見積額（千円）	建物				777	3,511							38,287	42,575
	林野													
	車両											637		637
	船舶													
	航空機													
	その他		2										853	855
	合計		2		777	3,511						637	39,140	44,067
出場車両人員	署（台）		6		22	7						6	37	78
	署（人）		16		61	21						23	104	225
	団（台）				11	4							31	46
	団（人）				92	36							203	331

出火原因別火災発生状況

令和2年中

区分＼原因別	月別出火件数													焼損面積		損害見積額（千円）
	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	建物（㎡）	林野（a）	
放火																
放火の疑い	1											1				
たばこ	1				1									25		470
火遊び																
こんろ																
ストーブ	3				1	1							1	203		22,352
たき火																
煙突・煙道																
ガス機器																
天ぷら鍋・厨房機器																
電気機器	2				1								1	71		3,227
電気配線																
ローソク	1												1	82		970
焼却炉																
マッチ・ライター																
火入れ																
その他																
不明・調査中	4		1									1	2	393		17,048
合計	12		1		3	1						2	5	774		44,067

時間帯別火災発生状況

令和2年中

区分＼時間	火災発生件数							焼損棟数					焼損面積		損害見積額（千円）
	合計	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物（㎡）	林野（a）	
0時～6時	2	2						6	2		4		1		4
6時～12時	5	4		1				9	4		4	1	596		39,398
12時～18時	2	1					1	1	1				70		3,223
18時～24時	3	2					1	2	1	1			107		1,442
合計	12	9		1			2	18	8	1	8	1	774		44,067

過去５年間の火災発生状況

区分＼年別		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
総火災件数		10	11	16	10	12
火災の種別	建物火災	6	5	11	5	9
	林野火災	1	1		2	
	車両火災	2	1	3	2	1
	船舶火災					
	航空機火災					
	その他火災	1	4	2	1	2
損害見積額（千円）		30,808	3,879	26,204	199,801	44,067
焼損棟数	全焼	2	2	4	4	8
	半焼	2	1	1		1
	部分焼	1	3	4	1	8
	ぼや	3	1	4	2	1
	合計	8	7	13	7	18
焼損面積	建物（㎡）	743	200	460	4,289	774
	林野（ａ）	1	3		70	
死傷者	死者			1		1
	負傷者		1	3	3	2
り災世帯数		7	1	5	1	13
り災人員		14	2	8	3	32

過去１０年間の出火原因別火災発生状況

年別／区分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
合　　計	14	15	23	12	16	10	11	16	10	12
放　　火						1				
放火の疑い	2	1	2		3	3				1
たばこ	2				2			2	1	1
火遊び	1		1							
こんろ		2		1				1		
ストーブ	1		2	3		1	1	2		3
たき火									2	
煙突・煙道							1	1		
ガス機器		1							1	
天ぷら鍋･厨房機器										
電気機器									1	2
電気配線	1		2	1	3	1	1	2	1	
ローソク		1	1							1
焼却炉								1		
マッチ・ライター										
火入れ										
その他	6	8	10	6	7	3	3	5	3	
不明・調査中	1	2	5	1	1	1	5	2	1	4

三沢市における主な火災記録

発生年月日	時間	発生場所	気象	原因	焼損棟数	損害額（千円）	り災世帯等
大正 5年 4月11日	3:30	下田村古間木（三沢市）	南西疾風	不審火	34 棟	16	
大正 8年 4月22日	1:03	六戸村古間木（三沢市）	不明	ランプ	33 棟	70	
昭和23年 5月20日	12:00	大三沢町上久保（中央町一丁目）	不明	不明	40 棟（林野4ha）	不明	
昭和23年11月 9日	1:20	大三沢町上久保（幸町三丁目）	不明	炉火	31 棟	7,200	
昭和24年11月13日	18:40	大三沢町上久保	北西1m	こたつ	23 棟	5,000	
昭和26年 1月23日	7:25	大三沢町本町五丁目	西北西3m	電気ｺﾝﾛ	41 棟	21,000	
昭和32年 3月 2日	1:10	大三沢町中央通り一丁目	北10m	ｽﾄｰﾌﾞ	18 棟	20,000	
昭和32年 5月13日	22:10	大三沢町中央通り三丁目	西北西5m	コンロ	9 棟	4,064	17世帯 死1傷1
昭和32年10月18日	1:10	大三沢町本町三丁目	北西7m	不明	45 棟	48,538	61世帯 死1傷5
昭和32年11月 8日	2:30	大三沢町本町一丁目	北西5m	ｽﾄｰﾌﾞ	17 棟	44,580	17世帯
昭和32年11月28日	6:10	大三沢町中央通り一丁目	南0.5m	不明	9 棟	42,303	35世帯
昭和33年 4月26日	1:10	大三沢町本町六丁目	東0.5m	不明	9 棟	78,180	34世帯 傷1
昭和35年 7月 1日	8:20	三沢市中央町二丁目	西南西6m	不明	19 棟	27,720	33世帯
昭和41年 1月11日	14:15	三沢市中央町二丁目	西22m	ｶﾞｽｺﾝﾛ	450 棟（53,537㎡）	1,565,605	三沢大火 828世帯
昭和43年 5月13日	9:49	三沢市中央町三丁目 三沢市幸町一丁目 三沢市大字犬落瀬	南東3m	化学薬品 石油ｽﾄｰﾌﾞ 化学薬品	3 棟	40,000	十勝沖地震
昭和47年11月21日	1:35	三沢市幸町三丁目	南東10m	たばこ	5 棟（664㎡）	38,864	11世帯 死1
昭和48年 7月 5日	2:10	三沢市中央町二丁目	西5m	不明	6 棟（1,543㎡）	125,184	6世帯
昭和57年 6月 7日	3:00	三沢市中央町二丁目	西3.1m	不明	5 棟（946㎡）	127,741	3世帯
平成10年 3月 23日	0:08	三沢市幸町一丁目	西4.1m	放火の疑い	3 棟（1,100㎡）	54,666	18世帯
令和元年12月24日	14:20	三沢市庭構	北西6m	換気扇	3棟（豚舎）（4,188㎡）	188,851	

救急業務の概要

1 救急車の運用

当消防本部の救急救命士数は、令和3年3月31日現在で32名おり、うち気管挿管認定者28名、薬剤投与認定者31名、心停止前静脈路確保・ブドウ糖投与（血糖測定）認定者28名である。

令和2年における救急業務は、本署所属の救急1号車、古間木出張所所属の救急2号車、北出張所所属の救急3号車の計3台で運用した。

2 救急出場及び搬送人員の状況

令和2年中の救急出場件数は1.489件、一日平均4件、搬送人員1.346人は管内人口39.323人（令和2年12月末現在）のうち概ね29人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。出場件数は、前年より59件減少し、搬送人員は66人減少した。

	令和元年	令和2年	増減
出場件数	1,548件	1,489件	59件減
搬送人員	1,412人	1,346人	66人減

署所別・事故種別救急活動状況

令和2年中

署所＼事故種別		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	合計
本署	出場件数	13	1	4	59	8	8	105	3	14	604	142	4	965
	搬送人員	2			59	8	8	98	3	10	543	141		872
北出張所	出場件数			2	18	4	1	26	2	2	114	1		170
	搬送人員				14	4	1	24	1		108	1		153
古間木出張所	出場件数	1			27	2		58		5	235	26		354
	搬送人員				21	2		55		3	214	26		321
合計	出場件数	14	1	6	104	14	9	189	5	21	953	169	4	1,489
	搬送人員	2			94	14	9	177	4	13	865	168		1,346

青森県ドクターヘリ要請状況

種別／年	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
平成27年			1	6	3	2	4		3	25	19	63
平成28年				12	11	4	7		3	27	4	68
平成29年				8	8		7		3	39	5	70
平成30年				12	7	1	6			46	9	81
令和元年				5	2		7		3	24	4	45
令和2年			1	1	3		11			39	7	62

ドクターカー要請状況

種別／年	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
平成27年				10			1			9		20
平成28年				6	1				1	12	1	21
平成29年				6	2					12	1	21
平成30年				8	1			1	2	11	1	24
令和元年				2				1		9	1	13
令和2年	2			4		6				15	4	31

月別・曜日別救急活動状況

令和2年中

月別＼事故種別		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転院搬送	医師搬送	資材搬送	その他	
1月	出場件数			1	5	1	1	17	1		106	16				148
	搬送人員				3	1	1	15	1		90	16				127
2月	出場件数	1			3	2	2	16		1	101	8				134
	搬送人員				3	2	2	16		1	97	8				129
3月	出場件数				5			14		2	71	15				107
	搬送人員				4			14			64	15				97
4月	出場件数	3		2	5			15	2	1	62	16				106
	搬送人員	1			5			15	2		58	16				97
5月	出場件数	1			16			16		1	89	23				146
	搬送人員				18			15		1	79	22				135
6月	出場件数				12			17		1	66	11			2	109
	搬送人員				10			15		1	59	11				96
7月	出場件数		1	2	6	1	1	10		3	71	14			1	110
	搬送人員				5	1	1	10		3	65	14				99
8月	出場件数				6	2	1	16	1	1	83	10				120
	搬送人員				8	2	1	15			77	10				113
9月	出場件数	2			16	2	1	19		4	76	11			1	132
	搬送人員				15	2	1	19		2	71	11				121
10月	出場件数				14	1	1	21	1	4	72	19				133
	搬送人員				12	1	1	18	1	2	66	19				120
11月	出場件数	2		1	6	2	2	10		3	73	12				111
	搬送人員				6	2	2	8		3	64	12				97
12月	出場件数	5			10	3		18			83	14				133
	搬送人員	1			5	3		17			75	14				115
合計	出場件数	14	1	6	104	14	9	189	5	21	953	169			4	1,489
	搬送人員	2			94	14	9	177	4	13	865	168				1,346

月	出場件数	2			13	3	1	18		2	152	26			1	218
	搬送人員	1			10	3	1	17		2	144	26				204
火	出場件数	2			16	2	1	26		6	117	28			1	199
	搬送人員				13	2	1	25		3	110	28				182
水	出場件数	2		3	16	4	1	38	1	4	145	29				243
	搬送人員				15	4	1	36		3	136	29				224
木	出場件数	1			16	3		30		4	145	31				230
	搬送人員				11	3		28		3	128	30				203
金	出場件数	2		1	15	2	1	25	2	1	137	26			1	213
	搬送人員				16	2	1	22	2		129	26				198
土	出場件数	2		1	17		2	27	1	2	124	20				196
	搬送人員	1			20		2	26	1		108	20				178
日	出場件数	3	1	1	11		3	25	1	2	133	9			1	190
	搬送人員				9		3	23	1	2	110	9				157
合計	出場件数	14	1	6	104	14	9	189	5	21	953	169			4	1,489
	搬送人員	2			94	14	9	177	4	13	865	168				1,346

年令区分別　搬送人員

令和2年中

事故種別 / 年令区分	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	合計
新生児										1	7		8
乳幼児				2			6			26	3		37
少　年				5		4	10		1	26	7		53
成　人	2			60	10	5	38	3	9	211	54		392
高齢者				27	4		123	1	3	601	97		856
合　計	2			94	14	9	177	4	13	865	168		1,346

傷病程度別　搬送人員

令和2年中

事故種別 / 傷病程度	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	合計
死　亡				2	1		5		2	25			35
重　症	1			7	2		28			102	37		177
中等症	1			12	6	4	58		2	311	121		515
軽　症				73	5	5	86	4	9	427	10		619
その他													
合　計	2			94	14	9	177	4	13	865	168		1,346

収容時間別　搬送人員

令和2年中

時間 / 事故種別	10分未満	10分以上20分未満	20分以上30分未満	30分以上60分未満	60分以上120分未満	120分以上	合計
急　病	1	21	418	376	49		865
交通事故		1	35	49	9		94
一般負傷		9	81	79	8		177
その他		14	38	117	34	7	210
合　計	1	45	572	621	100	7	1,346

区域別救急活動状況

令和2年中

区域別		事故種別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
													転院搬送	医師搬送	資材搬送	その他	
管内	一区	出場件数	4			12	1		35		5	180	4				241
		搬送人員				8	1		34		2	166	4				215
	二区	出場件数	10	1	4	78	8	8	130	3	15	668	162			4	1,091
		搬送人員	2			75	8	8	120	3	11	600	161				988
	三区	出場件数			2	14	4	1	21	2	1	102					147
		搬送人員				11	4	1	20	1		97					134
	小計	出場件数	14	1	6	104	13	9	186	5	21	950	166			4	1,479
		搬送人員	2			94	13	9	174	4	13	863	165				1,337
管外	基地内	出場件数					1					2	3				6
		搬送人員					1					1	3				5
	六戸	出場件数							3			1					4
		搬送人員							3			1					4
	おいらせ	出場件数															
		搬送人員															
	東北	出場件数															
		搬送人員															
	その他	出場件数															
		搬送人員															
	小計	出場件数					1		3			3	3				10
		搬送人員					1		3			2	3				9
合計		出場件数	14	1	6	104	14	9	189	5	21	953	169			4	1,489
		搬送人員	2			94	14	9	177	4	13	865	168				1,346

※ 一区　春日台、古間木、古間木山、本町、新町、大町、栄町、上久保
花園町、千代田町、犬落瀬古間木、猫又、小山田、堀切沢

二区　中央町、松園町、桜町、幸町、緑町、美野原、平畑、後久保、岡三沢
東町、南町、松原町、日の出、泉町、上屋敷、堀口、東岡三沢、下タ沢、下久保
南山、深谷、横沢、向平、山ノ下、山ノ神、水筒、上野、下野、北山、さつきヶ丘
下堀、園沢、流平、大津、中平、前平、三川目、港町、鹿中、四川目、五川目

三区　淋代、浜通、淋代平、細谷、六川目、織笠、塩釜、砂森、天ヶ森
根井、朝日、高野沢、谷地頭、富崎、越下、八幡、戸崎、庭構、早稲田、新森

時間帯別出場件数

令和2年中

事故種別 / 時間別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
											転院搬送	医師搬送	資材搬送	その他	
0時～2時	1			1			5	1	2	52	4				66
2時～4時		1					3			42	2				48
4時～6時			1	4	1		6	1		50	1			1	65
6時～8時			1	14			17		2	85	6				125
8時～10時	2		1	7	3	1	30		4	122	32				202
10時～12時	5		1	9	4	3	20		3	121	22				188
12時～14時			1	12	2		15		3	83	31				147
14時～16時				11	3	1	22			83	18				138
16時～18時	1			20	1	1	28		3	93	19				166
18時～20時	2			18		1	25	1	1	88	12			1	149
20時～22時	3		1	3		2	8	1	2	91	15			1	127
22時～24時				5			10	1	1	43	7			1	68
合　計	14	1	6	104	14	9	189	5	21	953	169			4	1,489

過去１０年間の救急活動状況

年別＼事故種別		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転院搬送	医師搬送	資材搬送	その他	
23	出場件数	11	1	1	133	7	11	186	7	18	947	122			3	1,447
年	搬送人員	1	1		173	7	11	173	7	15	871	121				1,380
24	出場件数	14		2	140	12	16	169	13	15	916	149			6	1,452
年	搬送人員	7		1	157	11	15	155	12	5	826	148				1,337
25	出場件数	16		3	133	13	11	183	5	17	913	157			1	1,452
年	搬送人員	3		2	138	12	10	168	2	8	815	156				1,314
26	出場件数	13		3	126	11	18	173	6	9	968	204			1	1,532
年	搬送人員	4		1	133	11	18	162	4	5	862	201				1,401
27	出場件数	15		3	131	12	12	181	9	18	916	182			7	1,486
年	搬送人員	2			135	11	11	175	5	10	840	184				1,373
28	出場件数	12	1		128	24	13	213	7	17	923	152				1,490
年	搬送人員				137	24	13	202	5	9	862	152				1,404
29	出場件数	9			110	20	5	194	6	18	973	210				1,545
年	搬送人員	1			115	20	5	179	5	12	895	210				1,442
30	出場件数	21		1	129	16	14	186	13	22	996	173			1	1,572
年	搬送人員	3			148	16	14	169	9	16	910	172				1,457
元	出場件数	10		2	123	8	14	210	4	18	997	160			2	1,548
年	搬送人員	3			120	8	14	194	3	12	898	160				1,412
2	出場件数	14	1	6	104	14	9	189	5	21	953	169			4	1,489
年	搬送人員	2			94	14	9	177	4	13	865	168				1,346

救急隊員の行った応急処置等件数

応急処置＼事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人数		865	94	177	210	1,346
止血		8	9	31	14	62
固定		4	82	37	8	131
人工呼吸		8		1	1	10
心臓マッサージ		2			1	3
	うち自動	1				1
心肺蘇生		23	2	5	3	33
	うち自動	13	1	1	1	16
酸素吸入		199	9	17	63	288
気道確保		48	2	8	7	65
	※1	7		1		8
	※2			2		2
	※3	12	1	1	1	15
	※4	5	1	3	1	10
保温		15		2	3	20
被覆		3	3	21	6	33
在宅療法継続		9				9
	※A	1				1
	※B	3				3
	※C	5				5
ショックパンツによる血圧保持						
除細動		3			1	4
静脈路確保	心停止前	10	2	1	1	14
	心停止後	12	1	3	3	19
薬剤投与(アドレナリン)		8	1		1	10
その他の応急処置		1		1		2
血圧測定		831	92	169	199	1,291
聴診器による心音呼吸音の聴取		642	68	102	110	922
血中酸素飽和度の測定		846	93	171	206	1,316
心電図		825	79	130	178	1,212
血糖測定		69		1		70
エピペン投与						
ブドウ糖投与		2				2
合計		3,568	443	700	805	5,516

※1は、経鼻エアウェイを使用し気道確保を行った件数　※2は、喉頭鏡・鉗子により異物除去を行った件数

※3は、救急救命士がラリンゲアルマスク等を使用し気道確保を行った件数

※4は、救急救命士が気管挿管を実施して気道確保を行った件数

※Aは、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対し、応急処置等を行った件数

※Bは、気管切開孔又は尿管嚢・人工肛門等の外嚢が施されている傷病者に対し、応急処置等を行った件数

※Cは、※A・※B以外の傷病者に対し、応急処置等を行った件数

救急救命士が行った特定行為の状況

○気道確保

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
実施回数	25	22	25	35	25
うち気管内挿管	15	9	11	4	10
心肺停止症例	35 件	37 件	42 件	53 件	37 件

※ 気道確保器具
・気管内挿管チューブ
・LM（ラリンゲアルマスク）　・コンビチューブ　｝食道閉鎖式
・LT（ラリンゲアルチューブ）　・WBチューブ　｝食道閉鎖式

※ 平成16年7月に気管挿管が認められ、現在の気管挿管認定救命士は28名
（令和3年3月31日現在）

○除細動

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
実施回数	4	3	4	6	4
心肺停止症例	35 件	37 件	42 件	53 件	37 件

○静脈路確保（心肺停止後）

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
実施回数	14	15	22	21	19
心肺停止症例	35 件	37 件	42 件	53 件	37 件

○薬剤投与（アドレナリン）

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
実施回数	9	11	9	9	10
心肺停止症例	35 件	37 件	42 件	53 件	37 件

※ 平成18年4月にアドレナリンによる薬剤投与が認められ、現在の薬剤投与認定救命士は31名
（令和3年3月31日現在）

○静脈路確保（心肺停止前）

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
実施回数	12	8	8	10	14

○ブドウ糖投与（心肺停止前）

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
実施回数	5	1	2	1	2

※ 平成27年2月に心停止前静脈路確保・ブドウ投与（血糖測定）が認められ、現在の認定救命士は28名
（令和3年3月31日現在）

救命講習実施状況

区分 / 実施年	普通Ⅰ（3時間）		普通Ⅱ（4時間）		普通Ⅲ（3時間）		上級（8時間）		救命入門（90分）		その他（3時間未満）		応急手当指導員		応急手当普及員		小計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
平成5～9年	67	1,260															67	1,260
平成10年	19	378															19	378
平成11年	21	515									5	291					26	806
平成12年	27	491									7	266					34	757
平成13年	21	406					1	8			10	277					32	691
平成14年	23	392					1	12			6	151					30	555
平成15年	40	791					1	25			7	243					48	1,059
平成16年	36	881					1	6			5	160					42	1,047
平成17年	36	539	5	66			1	11			10	345					52	961
平成18年	61	1,727	10	196			1	9			10	279					82	2,211
平成19年	56	1,052	4	54			2	35			7	153					69	1,294
平成20年	69	1,338	1	15			1	36			6	261					77	1,650
平成21年	39	961	2	40			2	27			2	420					45	1,448
平成22年	42	1,090					1	28			4	84					47	1,202
平成23年	41	936					1	9			5	105					47	1,050
平成24年	50	1,356			4	55	1	12	1	24	1	10					57	1,457
平成25年	44	1,119			3	22	2	30	2	35	6	151					57	1,357
平成26年	40	979			6	106	2	28	6	160	2	34	2	5	1	5	59	1,317
平成27年	47	1,241	1	13	7	84	2	40	6	109	8	81	2	4	1	12	74	1,584
平成28年	43	1,084			5	49	1	8	12	329	5	275	1	8	1	4	68	1,757
平成29年	54	1,251			3	59	1	12	15	420	3	46	1	2	1	6	78	1,796
平成30年	48	1,011			8	90	1	5	7	211	10	213	1	2	1	2	76	1,534
令和元年	66	1,377			7	93	3	15	6	194	5	230	1	4	1	1	89	1,914
令和2年	36	817			5	62	2	17	4	52			3	6	1	2	51	956
合　計	1,026	22,992	23	384	48	620	28	373	59	1,534	124	4,075	11	31	7	32	1,326	30,041

※平成5年7月から普通救命講習を開催

※平成17年4月からAED導入により、普通救命講習Ⅰ・Ⅱを開催

※平成24年4月から実施要綱の一部改正に伴い、普通救命講習Ⅲ(小児・乳児・新生児)、救命入門コースを開催

救助業務の概要

消防機関の行う救助活動は、火災をはじめ交通事故・水難事故・自然災害や機械による事故等から、人力や機械力等を用いてその危険を排除し、安全な場所に救助するために行われています。
近年、社会経済活動の多様化、都市構造の近代化等により、火災や事故も複雑多様化し、災害においても自然災害、さらには化学災害など救助活動の範囲も拡大して技術的にも装備的にも、より充実したものが求められております。
現在、当本部では、各種救助資器材を装備した救助工作車の配備・救助隊を編成し、専門的な救助活動にあたっています。
また、水難事故に対しては、救助艇「きざきの」の配備・潜水資器材を装備し、潜水士免許取得の潜水隊員により水難救助活動を実施しています。
令和2年中において、救助事故に出場した件数は41件であり、このうち活動を実施した救助活動件数は24件、救助人員は18人となっています。
これらを前年と比較すると、救助出場件数は12件増加しており、活動件数においては8件増加、救助人員にあっては6人増加しています。

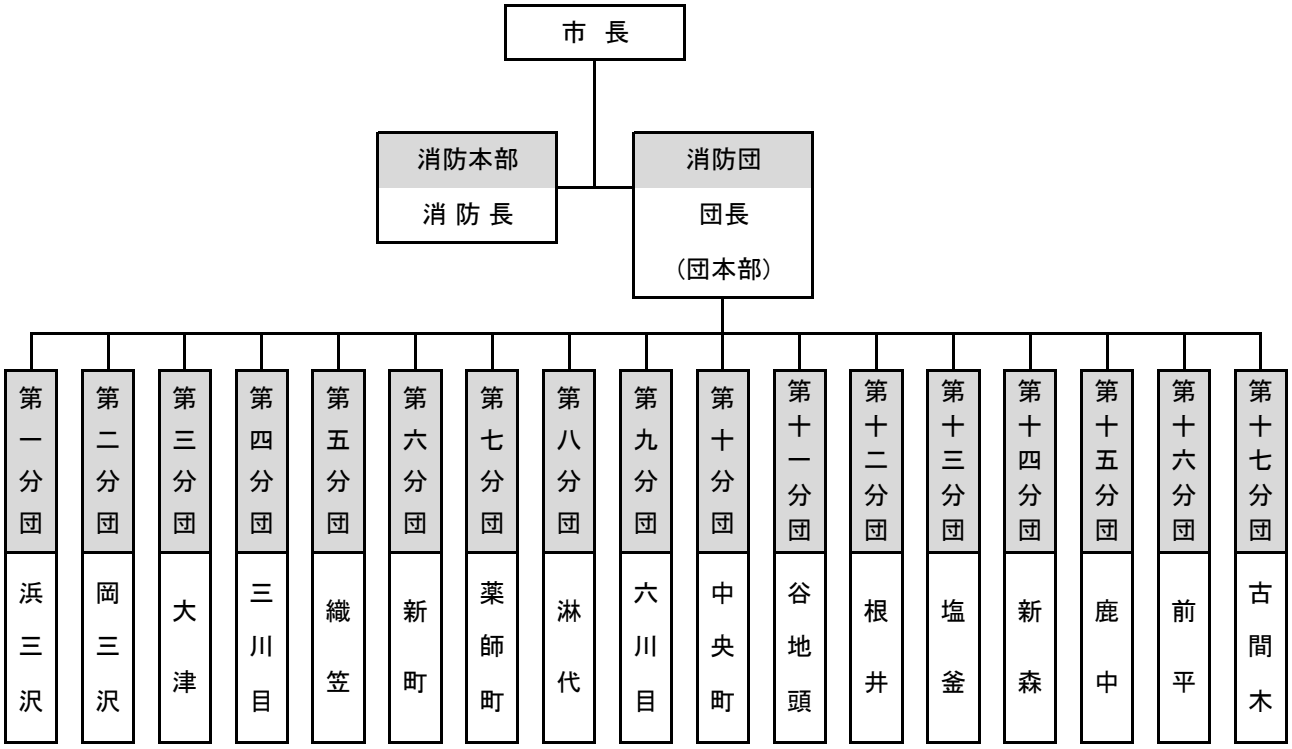
1　出場・活動状況

事故種別 ＼ 区分	火災		交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	合計
	建物	建物以外									
出場件数	8	1	12	4			7	1		8	41
活動件数	8		7	4			2	1		3	25
救助人員	1		9	3			2	1		3	19
出場人員	172	18	165	76			58	7		122	618
出場車両（台）	59	5	57	26			20	2		46	215

2　救助出場・救助活動状況前年との比較

区分		令和元年			令和2年			出場件数増減	出場の全体比
		出場件数	活動件数	救助人員	出場件数	活動件数	救助人員		
火災	建物	5	3		8	8	1	3	19.5%
	建物以外	2			1			−1	2.4%
交通事故		11	7	7	12	7	9	1	29.3%
水難事故		2	2	1	4	4	3	2	9.8%
自然災害									
機械による事故		2	1	1				−2	
建物等による事故		3	1	1	7	2	2	4	17.1%
ガス及び酸欠事故		1	1	1	1	1	1		2.4%
爆発事故									
その他の事故		3	1	1	8	3	3	5	19.5%
総数		29	16	12	41	25	19	12	100%

消防団の組織機構



○歴代消防団長

項目	氏　名	就任年月日	在職年数
初代	小比類巻要人	大正13年6月18日	１８年１１ヶ月
2代	鈴木元	昭和18年5月　日	2年
3代	小比類巻金作	昭和20年9月　日	4年
4代	堀種三	昭和24年6月　日	8年
5代	杉野直義	昭和32年6月　日	5年
6代	野々宮外彦	昭和37年12月14日	１１年６ヶ月
7代	馬場五六	昭和49年6月24日	12年
8代	中塩義美	昭和61年6月24日	3年
9代	小比類巻與一	平成元年6月24日	3年
10代	織笠徳太郎	平成5年4月1日	２年２ヶ月
11代	中塩正志	平成7年6月1日	１年９ヶ月
12代	種市金雄	平成9年3月1日	4年
13代	山本正文	平成13年3月1日	１４年１ヶ月
14代	畑中直人	平成27年4月1日	2年
15代	佐々木芳英	平成29年4月1日	1年
16代	根市正廣	平成30年4月1日	3年
17代	大沢春彦	令和3年4月1日	在職中

階級別消防団員数

令和3年4月1日現在

	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	計
定　員	1	3	20	20	276			320
実　数	1	3	19	20	20	67	159 (7)	289 (7)

※女性団員は内数として( )内に示す。

消防団員の配置状況

令和3年4月1日現在

階級 / 所属	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	計
団本部	1	3	2	3	3		8 (7)	20 (7)
第 1分団			1	1	1	4	8	15
第 2分団			1	1	1	4	16	23
第 3分団			1	1	1	4	8	15
第 4分団			1	1	1	4	11	18
第 5分団			1	1	1	4	7	14
第 6分団			1	1	1	4	12	19
第 7分団			1	1	1	4	7	14
第 8分団			1	1	1	4	9	16
第 9分団			1	1	1	4	16	23
第10分団			1	1	1	4	8	15
第11分団			1	1	1	4	6	13
第12分団			1	1	1	4	3	10
第13分団			1	1	1	4	13	20
第14分団			1	1	1	4	6	13
第15分団			1	1	1	4	6	13
第16分団			1	1	1	3	5	11
第17分団			1	1	1	4	10	17
計	1	3	19	20	20	67	159 (7)	289 (7)

※女性団員は内数として( )内に示す。

在職年数別消防団員数

令和3年4月1日現在

在職年数	5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満	25年以上30年未満	30年以上	計
団員数	60 (7)	64	51	41	34	23	16	289 (7)
比率(%)	20.8%	22.1%	17.6%	14.2%	11.8%	8.0%	5.5%	100%

※女性団員は内数として( )内に示す。

年令別消防団員数

令和3年4月1日現在

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計
団員数		30	64 (1)	87 (4)	72 (2)	36	289 (7)
比率(%)		10.4%	22.1%	30.1%	24.9%	12.5%	100%

※女性団員は内数として( )内に示す。

消防団員報酬

階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
年報酬	60,000円	46,000円	33,000円	28,000円	24,000円	21,000円	20,000円

消防団員出動手当（費用弁償）

区分		金額
火災・風水害	4時間未満	2,000円
	4時間以上	3,000円
捜索	4時間未満	3,000円
	4時間以上	4,500円
訓練・警戒	2,000円	
その他	1,000円	

消防団員出動状況

令和2年中

種別＼月	火災			風水害等			演習訓練			特別警戒			捜索			その他		
	回数	延人員	延車両	回数	延人員	延車両	回数	延人員	延車両	回数	延人員	延車両	回数	延人員	延車両	回数	延人員	延車両
1月							7	292	24	4	86	17				17	183	27
2月																31	314	61
3月	1	40	5	1	5	1	2	10	2							29	288	36
4月	4	118	15							10	197	39	1	7	3	18	168	21
5月	1	39	5													24	200	28
6月	1	50	5				13	174	22							22	130	23
7月	1	25	5				18	251	34							14	90	15
8月							17	196	26							18	137	20
9月	3	67	11				13	177	24							19	113	19
10月							14	191	27	11	291	44				19	114	19
11月	2	30	6				1	1	1							34	258	40
12月	5	221	36													48	431	96
計	18	590	88	1	5	1	85	1,292	160	25	574	100	1	7	3	293	2,426	405

※「捜索」には、行方不明者の捜索を含む。

消防団車両配置表

令和3年4月1日現在

所　属	種 別	車 種	登録年月日	経過年数	ポ　ン　プ			備　考
					艤装社名	形　式	級別	
消防団本部	指揮車	ホンダ	H27.1.19	6				14号車 4WD
第 1分団	普通車	日野	H21.3.13	12	日本機械工業(株)	2段ﾀｰﾋﾞﾝ	A-2	CD-Ⅰ型 4WD
第 2分団	普通車	いすゞ	H17.3.17	16	(株)モリタ	2段ﾀｰﾋﾞﾝ	A-2	CD-Ⅰ型 4WD
第 3分団	普通車	三菱	H8.2.14	25	(株)モリタ	2段ﾀｰﾋﾞﾝ	A-2	CD-Ⅰ型 4WD
第 4分団	普通車	いすゞ	H18.3.3	15	日本機械工業(株)	2段ﾀｰﾋﾞﾝ	A-2	CD-Ⅰ型 4WD
第 5分団	積載車	いすゞ	H21.3.13	12	(有)丸栄消機	トーハツ片吸入 高圧1段ﾀｰﾋﾞﾝ	B-2	積載車 4WD
第 6分団	普通車	日野	H21.3.13	12	日本機械工業(株)	2段ﾀｰﾋﾞﾝ	A-2	CD-Ⅰ型 4WD
第 7分団	普通車	三菱	H6.2.7	27	(株)モリタ	2段ﾊﾞﾗﾝｽﾀｰﾋﾞﾝ	A-2	CD-Ⅰ型 4WD
第 8分団	積載車	いすゞ	H31.3.11	2	(有)丸栄消機	トーハツ片吸入 高圧1段ﾀｰﾋﾞﾝ	B-2	積載車 4WD
第 9分団	普通車	いすゞ	H13.3.12	20	(株)モリタ	2段ﾀｰﾋﾞﾝ	A-2	CD-Ⅰ型 4WD
第10分団	普通車	日野	H24.3.14	9	(株)モリタ	2段ﾊﾞﾗﾝｽﾀｰﾋﾞﾝ	A-2	CD-Ⅰ型 4WD
第11分団	積載車	いすゞ	R2.3.6	1	(有)丸栄消機	トーハツ片吸入 高圧1段ﾀｰﾋﾞﾝ	B-2	積載車 4WD
第12分団	積載車	いすゞ	H21.3.13	12	(有)丸栄消機	トーハツ片吸入 高圧1段ﾀｰﾋﾞﾝ	B-2	積載車 4WD
第13分団	普通車	トヨタ	H26.2.26	7	(株)モリタ	2段ﾊﾞﾗﾝｽﾀｰﾋﾞﾝ	A-2	CD-Ⅰ型 4WD
第14分団	積載車	いすゞ	H25.3.5	8	(株)八戸鉄工	シバウラ 高圧１段ﾀｰﾋﾞﾝ	B-2	積載車 4WD
第15分団	積載車	三菱	H16.2.24	17	(有)丸栄消機	トーハツ片吸入 高圧1段ﾀｰﾋﾞﾝ	B-2	積載車 4WD
第16分団	積載車	いすゞ	H26.2.14	7	(株)IHIシバウラ 防災事業部	シバウラ 高圧１段ﾀｰﾋﾞﾝ	B-2	積載車 4WD
第17分団	普通車	トヨタ	H28.2.24	5	(株)モリタ	2段ﾊﾞﾗﾝｽﾀｰﾋﾞﾝ	A-2	CD-Ⅰ型 4WD

消防団屯所一覧

令和3年4月1日現在

名　称	所　在　地	構　造	延面積（㎡）	竣工年月	経過年数
第 1分団	三沢市大字三沢字横沢54－10	木造平屋建鉄板葺	104.34	昭 和 53 年 3 月	43
第 2分団	三沢市岡三沢五丁目24－2	木造平屋建鉄板葺	115.93	昭 和 56 年 3 月	40
第 3分団	三沢市大津二丁目12－367	木造平屋建鉄板葺	103.92	平 成 8 年 2 月（平成29年改修工事）	25
第 4分団	三沢市三川目三丁目69－4	木造平屋建鉄板葺	105.99	昭 和 57 年 3 月（平成30年改修工事）	39
第 5分団	三沢市織笠四丁目2651	木造平屋建鉄板葺	99.37	昭 和 58 年 3 月（平成27年改修工事）	38
第 6分団	三沢市大字三沢字猫又122－43	木造2階建鉄板葺	95.23	昭 和 63 年 3 月	33
第 7分団	三沢市字古間木山115－5	木造2階建鉄板葺	99.37	平 成 2 年 3 月	31
第 8分団	三沢市淋代六丁目116－2986	木造平屋建鉄板葺	96.89	昭 和 59 年 3 月（令和２年改修工事）	37
第 9分団	三沢市六川目四丁目839	木造2階建鉄板葺	94.82	昭 和 62 年 3 月（平成28年改修工事）	34
第10分団	三沢市中央町一丁目5－1	鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ2階建	482.55	昭 和 56 年 11 月	39
第11分団	三沢市谷地頭二丁目681－6	木造平屋建鉄板葺	95.23	昭 和 59 年 3 月	37
第12分団	三沢市根井二丁目105－17	木造平屋建鉄板葺	96.88	昭 和 60 年 3 月	36
第13分団	三沢市塩釜一丁目1251	木造平屋建鉄板葺	97.72	昭 和 61 年 3 月（平成26年改修工事）	35
第14分団	三沢市新森二丁目3-2	木造平屋建鉄板葺	90.80	平 成 22 年 12 月	10
第15分団	三沢市鹿中二丁目145－703	木造平屋建鉄板葺	89.25	平 成 元 年 3 月（令和元年改修工事）	32
第16分団	三沢市前平一丁目11－4	鉄筋コンクリート平屋建	96.15	平 成 21 年 3 月	12
第17分団	三沢市古間木二丁目180－3	木造平屋建鉄板葺	131.66	昭 和 62 年 3 月（平成27年改修工事）	34